
男女共同参画についての市民意識調査
報 告 書
【概要版】

令和8（2026）年3月

八 尾 市

調査概要

1. 調査目的

本市では、男女共同参画施策の方向性と内容を明らかにし、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため平成 28（2016）年3月に「八尾市はつらつプラン～第3次八尾市男女共同参画基本計画～」を策定し、その後令和2（2020）年度に中間見直しを実施し男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進しているところです。

同計画は期間を令和8年度まで1年延伸することとなったことから、令和9年度に、「（仮）第4次八尾市男女共同参画基本計画」を策定予定としており、今後の男女共同参画施策に反映するため、市民の男女共同参画に関する現状や意識、意見等を把握することを目的として、令和7年度男女共同参画についての市民意識調査を実施しました。

2. 調査概要

（1）調査方法

- ①調査地域 : 八尾市全域
- ②調査対象 : 満 18 歳以上の男女 3,000 人（男 1,500 人、女 1,500 人）を住民基本台帳の中から無作為に抽出させていただきました。
- ③実施方法 : 郵送による調査票の配布・郵送または八尾市電子申請システムによる回答
- ④調査期間 : 令和7（2025）年 10 月 2 日から 10 月 20 日まで

（2）回収結果

調査時期	配布数	有効回答数	有効回答率
前回調査（令和元年 10 月）	3,000	1,209	40.3%
今回調査（令和 7 年 10 月）	3,000	1,351	45.0%

3. 報告書の見方

- 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、構成比（%）の合計が 100.0%にならないことがあります。
- 複数回答（マルチアンサー）の設問の場合、集計結果の合計が 100.0%を超えます。
- グラフ及び表中の“N”は有効回答数を表しています。
- クロス集計については、無回答を含んでいません。
- 構成比（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。
- 回答者数が少ない場合は、回答の比率が変動しやすく、またプライバシー上の問題が生じるおそれがあるため、非掲載としていることがあります。詳細について必要であれば発行者までお問い合わせください。

A 男女平等に関する意識について

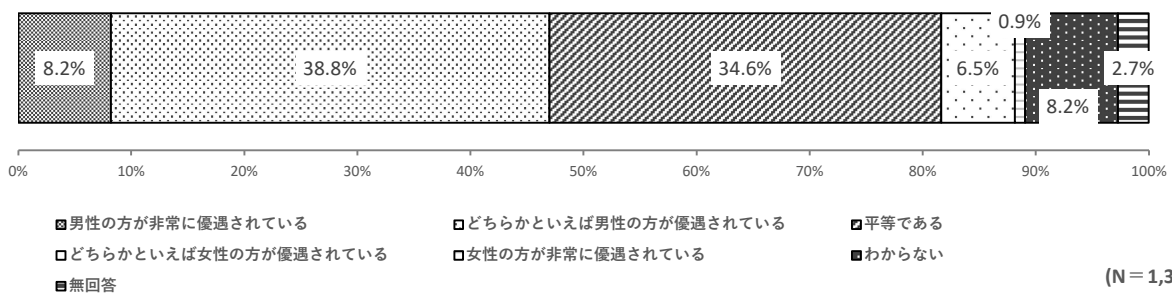
問1 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。
(①～⑧のそれぞれについて〇は1つ)

『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた値)は、「④政治の場では」の74.3%を筆頭に、「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」が68.5%、「⑧社会全体では」が63.2%と高い割合となっています。

「平等である」については「③学校教育の場では」46.6%と最も高く、次いで「⑦地域活動の場では」39.5%、「①家庭の場」34.6%となっています。

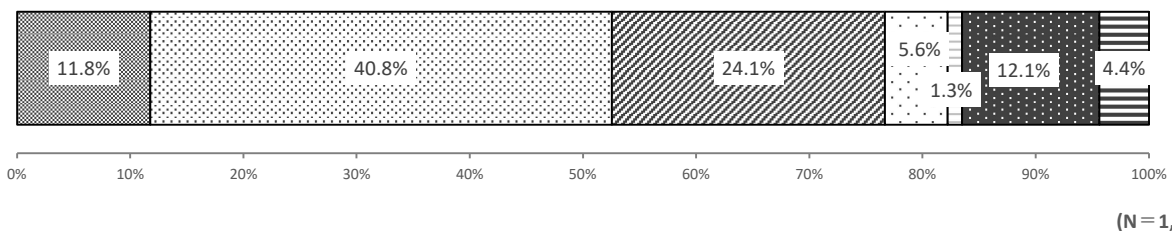
① 家庭の場では

問1 ①家庭の場合では



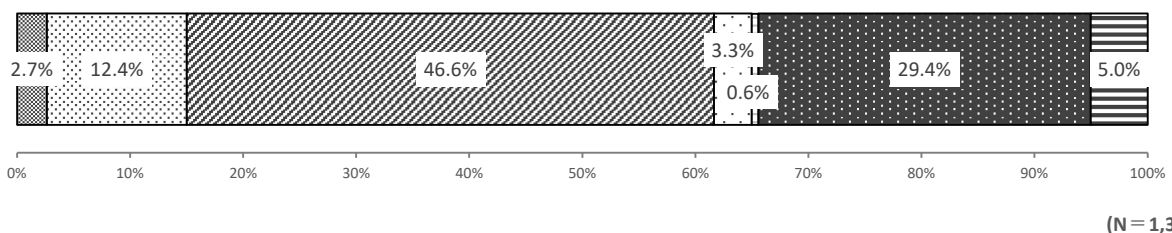
② 職場では

問1 ②職場では



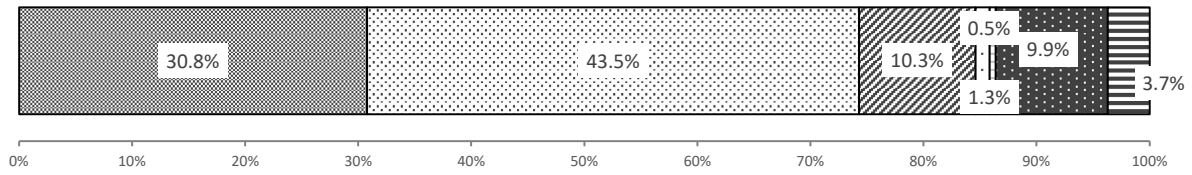
③ 学校教育の場では

問1 ③学校教育の場では



④ 政治の場では

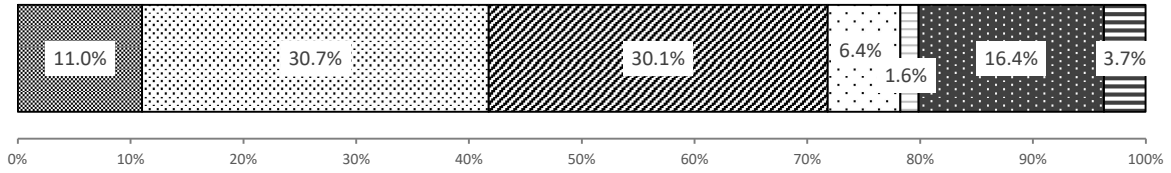
問1 ④政治の場では



(N = 1,351)

⑤ 法律や制度の上においては

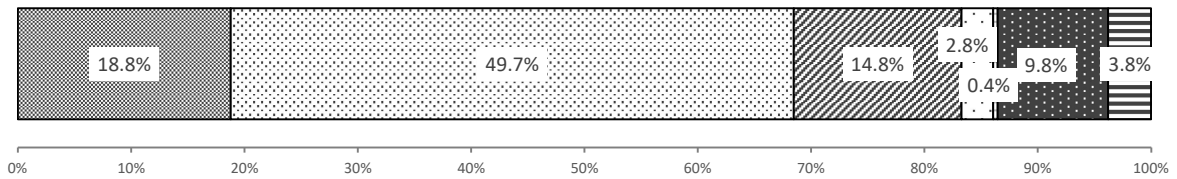
問1 ⑤法律や制度の上においては



(N = 1,351)

⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどでは

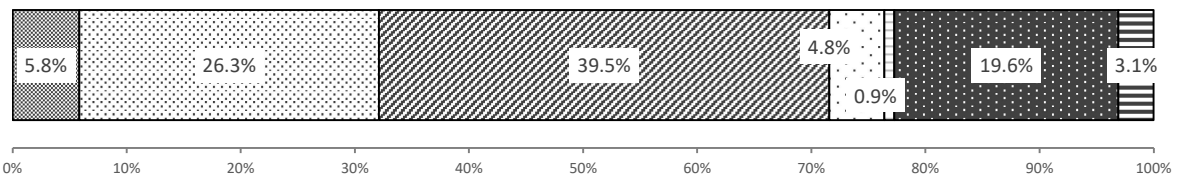
問1 ⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは



(N = 1,351)

⑦ 地域活動の場では

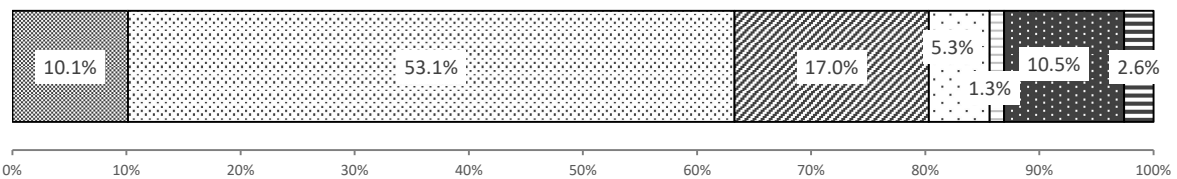
問1 ⑦地域活動の場などでは



(N = 1,351)

⑧ 社会全体では

問1 ⑧社会全体では

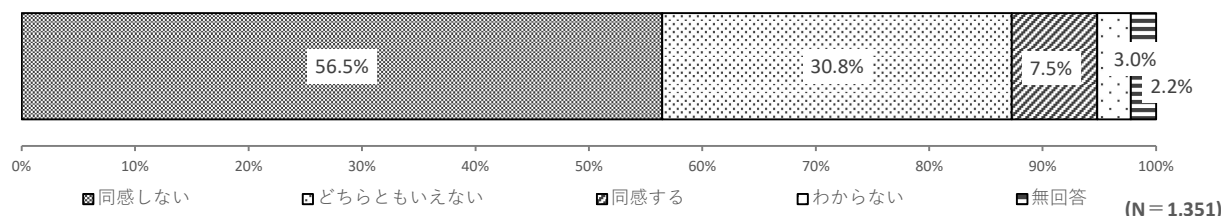


(N = 1,351)

問2 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。
(〇は1つ)

「同感しない」が56.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.8%、「同感する」が7.5%となっています。

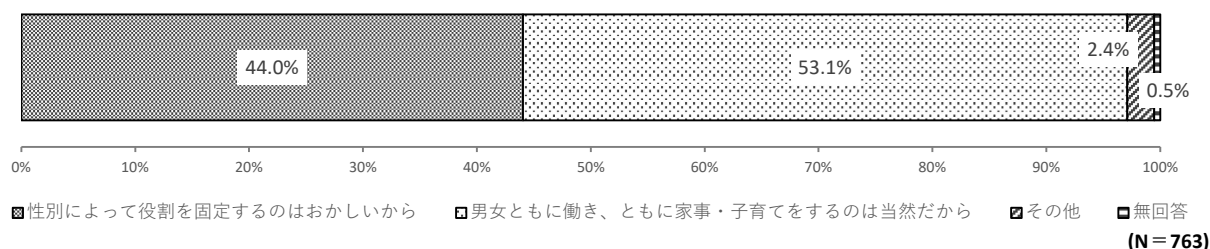
問2 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。



問2-1 問2で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。
(〇は1つ)

「男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから」が53.1%と最も高く、次いで「性別によって役割を固定するのはおかしいから」が44.0%となっています。

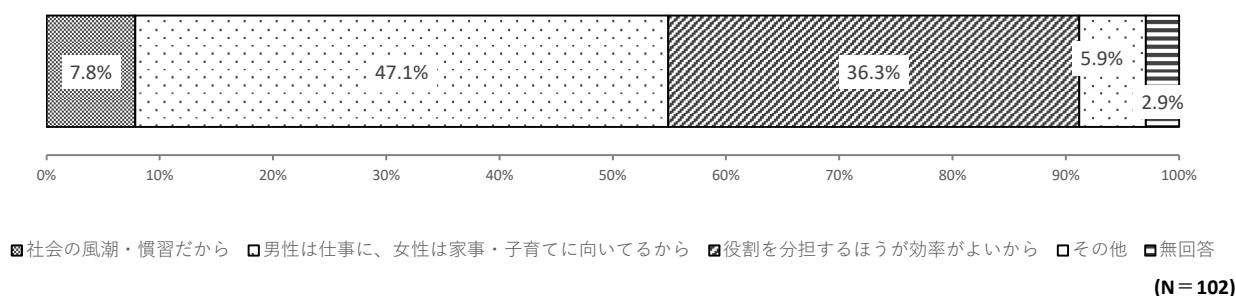
問2-1 問2で「1. 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。



問2-2 問2で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。
(〇は1つ)

「男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから」が47.1%と最も高く、次いで「役割を分担するほうが効率がよいから」が36.3%となっています。

問2-2 問2で「3. 同感する」と答えられた方にお尋ねします。その理由はなぜですか。

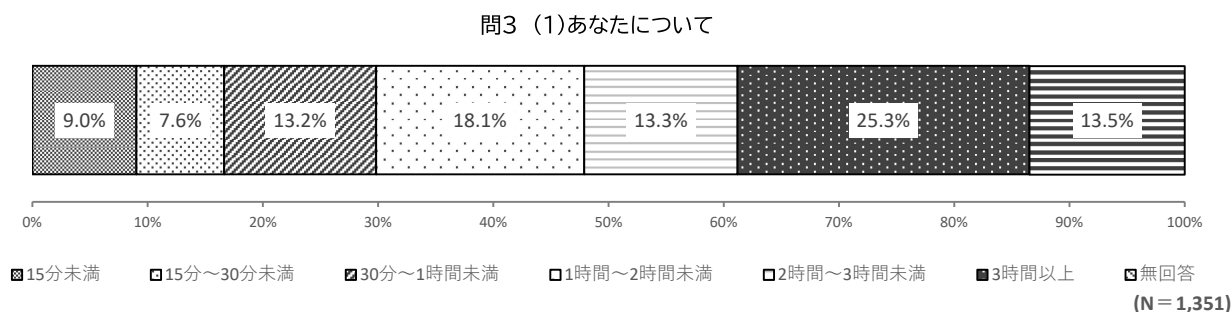


B 家庭生活について

問3 あなた、配偶者（パートナー）が家事・育児・介護をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。（それぞれについて○は1つ）

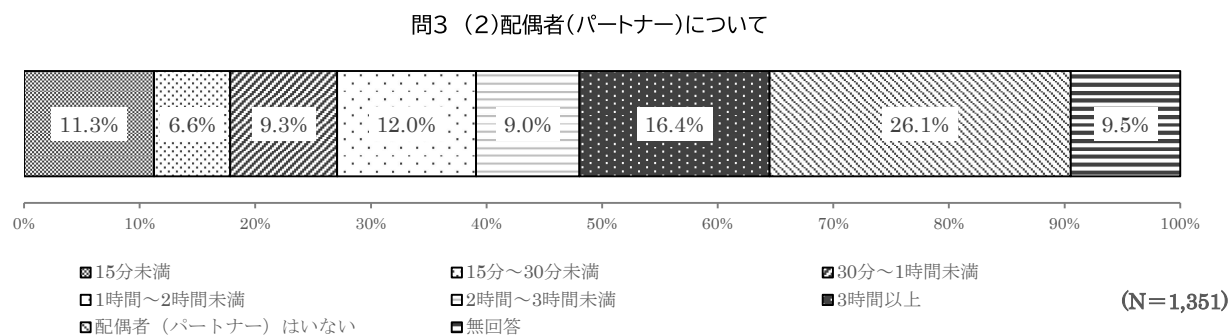
(1) あなたについて

全体としては「3時間以上」が25.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が18.1%、「無回答」が13.5%となっています。



(2) 配偶者（パートナー）について

全体では、「配偶者（パートナー）はいない」が26.1%と最も高く、次いで「3時間以上」が16.4%となっています。



問4 次の①～⑩の項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当していますか。
 (①～⑩のそれぞれについて〇は一つ)

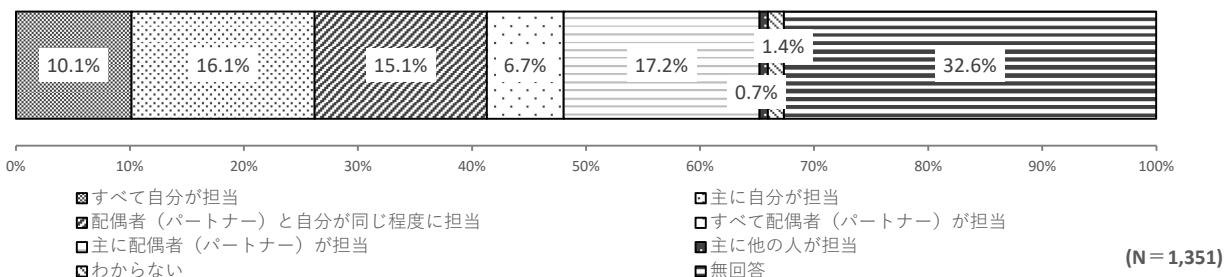
『自分が担当』（「すべて自分が担当」と「主に自分が担当」を合わせた値）は、「②掃除・洗濯をする」、「③食事の支度をする」、「④日々の家計を管理する」の項目が比較的高く、30%越えとなっています。

『配偶者が担当』（「すべて配偶者が担当」と「主に配偶者が担当」を合わせた値）では、「③食事の支度をする」が、他の項目に比べて高く、25.0%となっています。

また、「⑧子供の進路を決定する」と「⑨高額な買い物を決定する」については、それぞれ22.1%、38.2%と「配偶者（パートナー）と自分が同じように担当」が高い項目となっています。

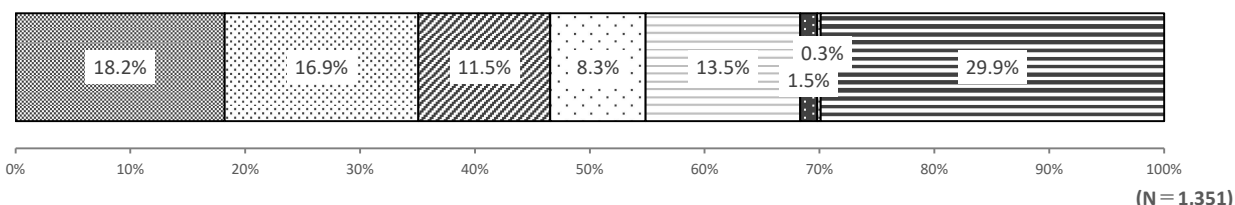
① 家計における主な収入を得ている

問4 ①家計における主な収入を得ている



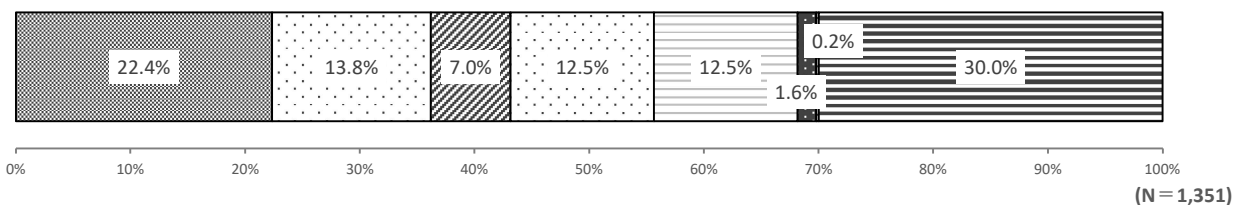
② 掃除・洗濯をする

問4 ②掃除・洗濯をする



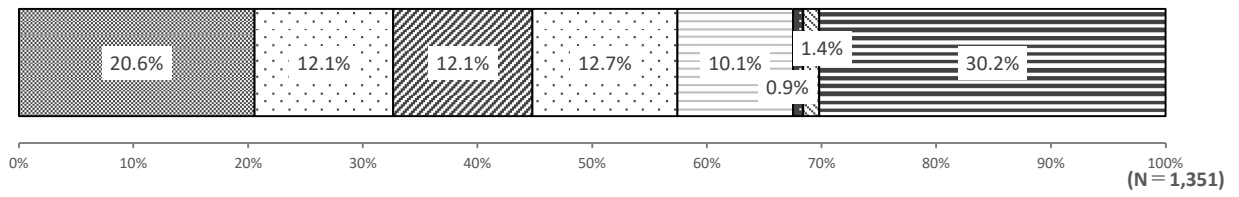
③ 食事の支度をする

問4 ③食事の支度をする



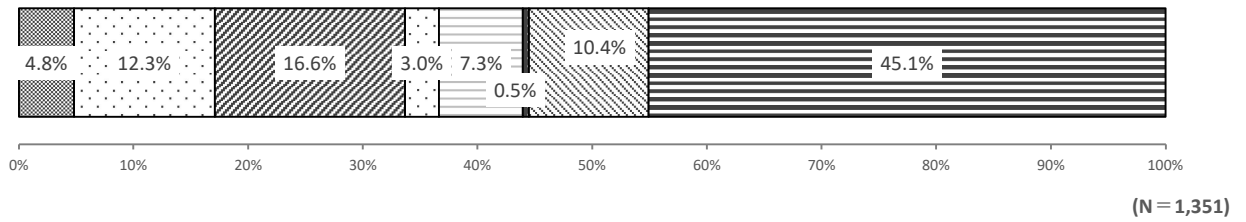
④ 日々の家計を管理する

問4 ④日々の家計を管理する



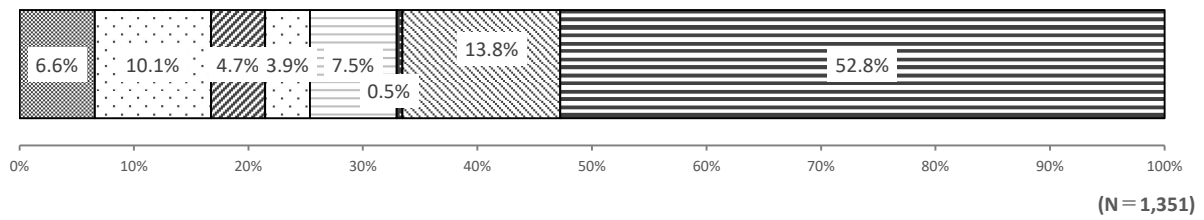
⑤ 子どもの教育としつけをする

問4 ⑤子供の教育としつけをする



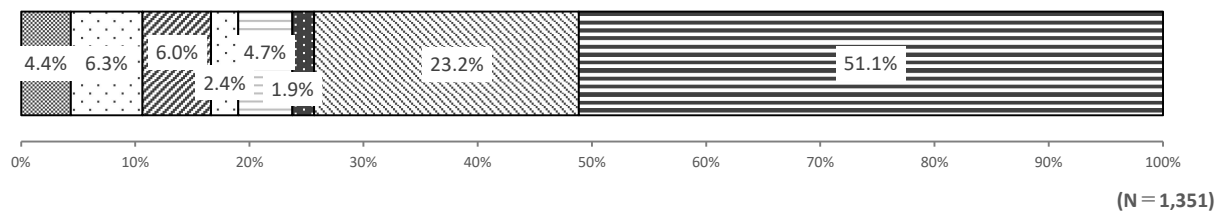
⑥ 乳幼児の世話をする

問4 ⑥乳幼児の世話をする



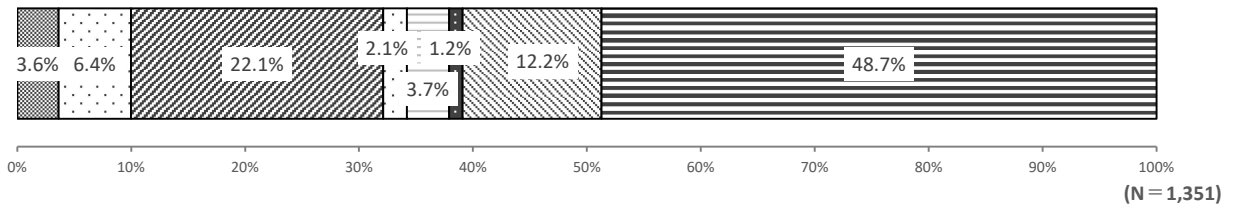
⑦ 高齢の家族の介護をする

問4 ⑦高齢の家族の介護をする



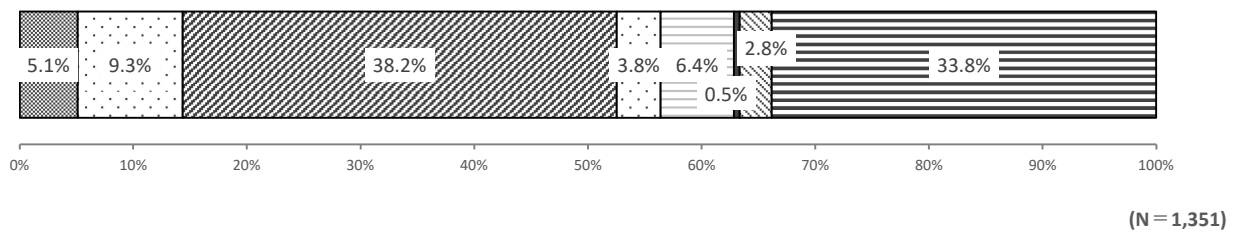
⑧ 子どもの進路を決定する

問4 ⑧子どもの進路を決定する



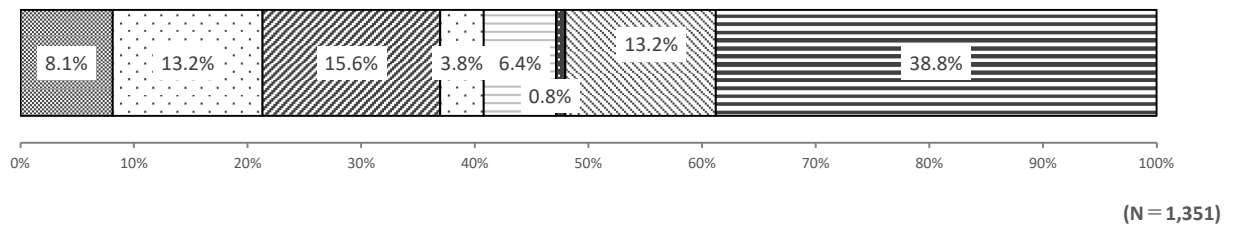
⑨ 高額な買い物の決定をする

問4 ⑨高額な買い物の決定をする



⑩ 地域活動へ参加する

問4 ⑩地域活動へ参加する



C 子育て・教育について

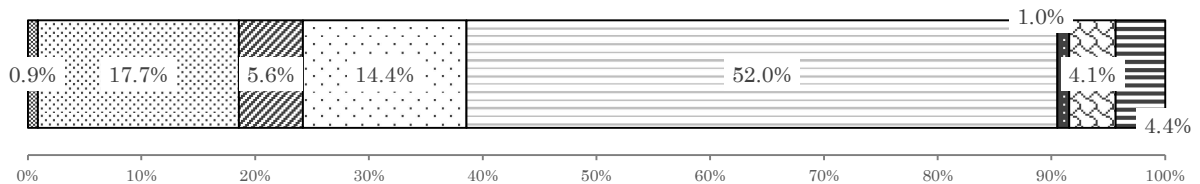
問5 一般的に子どもには、どの程度の学歴が必要だと思えますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。（それぞれについて〇は1つ）

女の子は、「大学」が52.0%と最も高く、次いで「高等学校・支援学校高等部」が17.7%「短期大学・高等専門学校」が14.4%となっています。

男の子は「大学」が65.5%、次いで「高等学校・支援学校高等部」が14.3%と、この二つの項目で約8割を占めます。

「専門・専修学校」では女の子は5.6%に対して男の子は4.3%、大学院については、女の子1.0%に対して男の子は2.5%となっています。

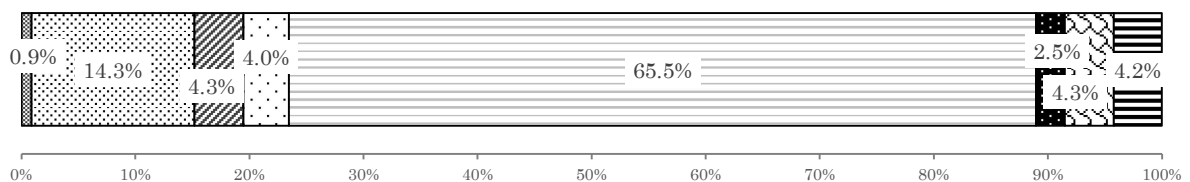
問5 (1)女の子の場合



■ 中学校・支援学校中学部 ■ 高等学校・支援学校高等部 ■ 専門・専修学校 ■ 短期大学・高等専門学校 ■ 大学 ■ 大学院 ■ その他 ■ 無回答

(N=1,351)

問5 (2)男の子場合



(N=1,351)

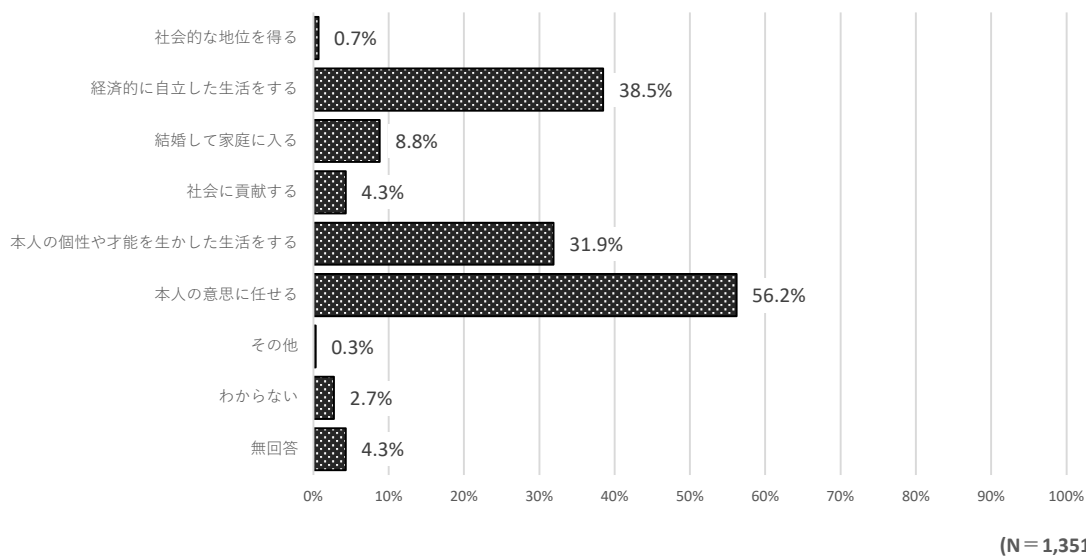
問6 子どもには、どのような生き方が望ましいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。(それぞれについて〇は2つ)

女の子は、「本人の意思に任せる」が56.2%と最も多く、次いで「経済的に自立した生活をする」が38.5%、「本人の個性や才能を生かした生活をする」が31.9%となっています。

男の子は、「本人の意思に任せる」が50.3%で、「経済的に自立した生活をする」が50.1%とほぼ同率で並び、次いで「本人の個性や才能を生かした生活をする」が27.6%となっています。

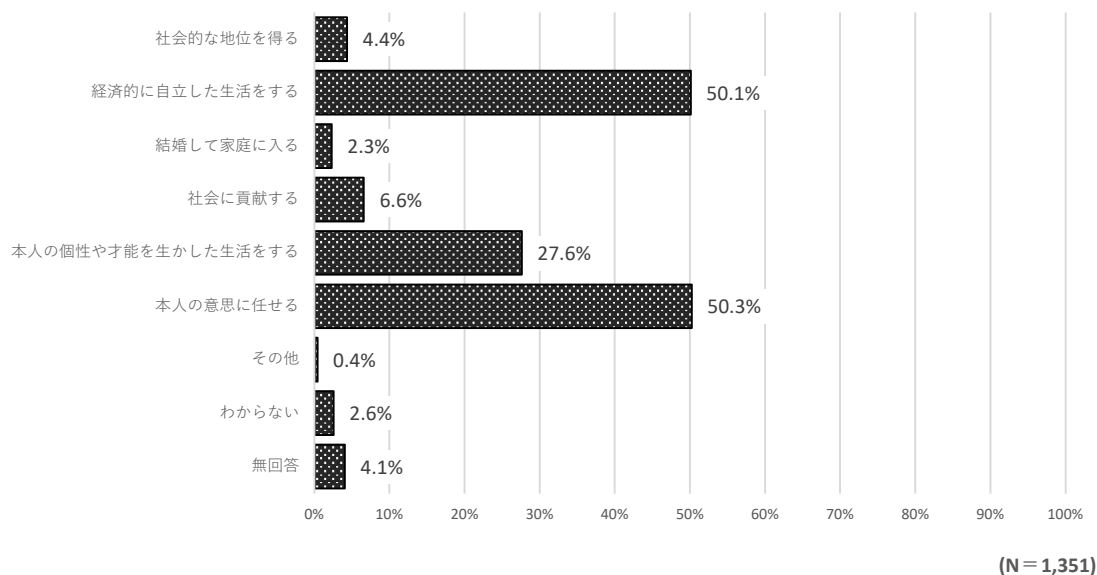
(女の子の場合)

問6 (1)女の子の場合



(男の子の場合)

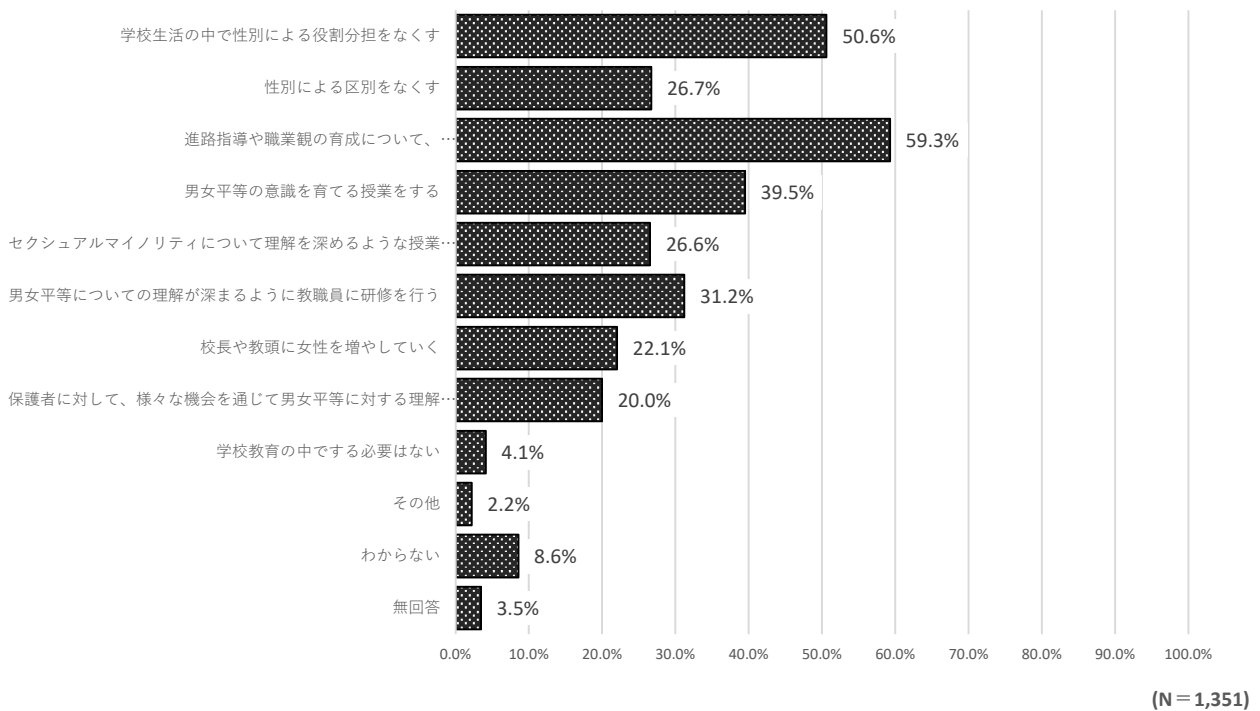
問6 (2)男の子の場合



問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。(〇はいくつでも)

「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」が最も多く59.3%、次いで「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役などの役割分担をなくす）」が50.6%、「男女平等の意識を育てる授業をする」が39.5%となっています。

問7 学校の中での取り組みには、どのようなことが必要と思いますか。

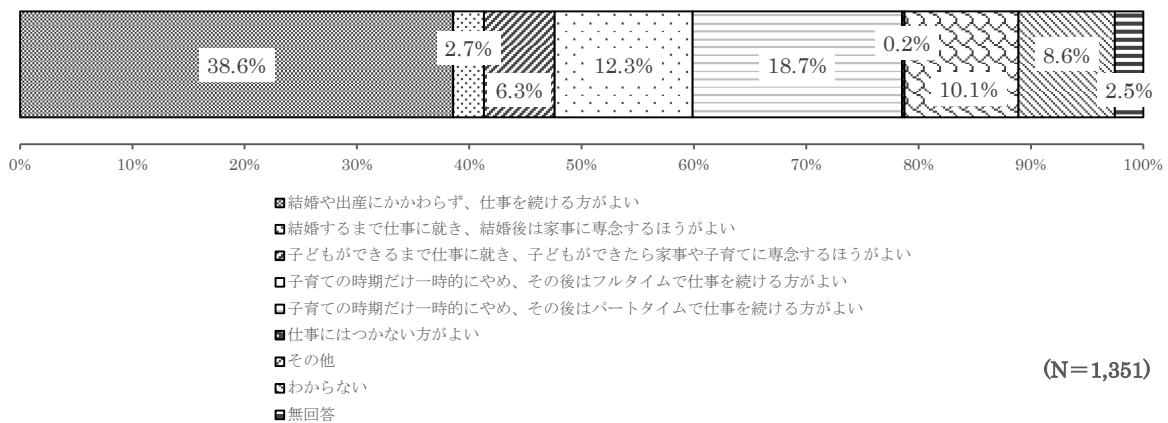


D 就労について

問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が38.6%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が18.7%、「子育ての時期だけ一時辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい」が12.3%となっています。

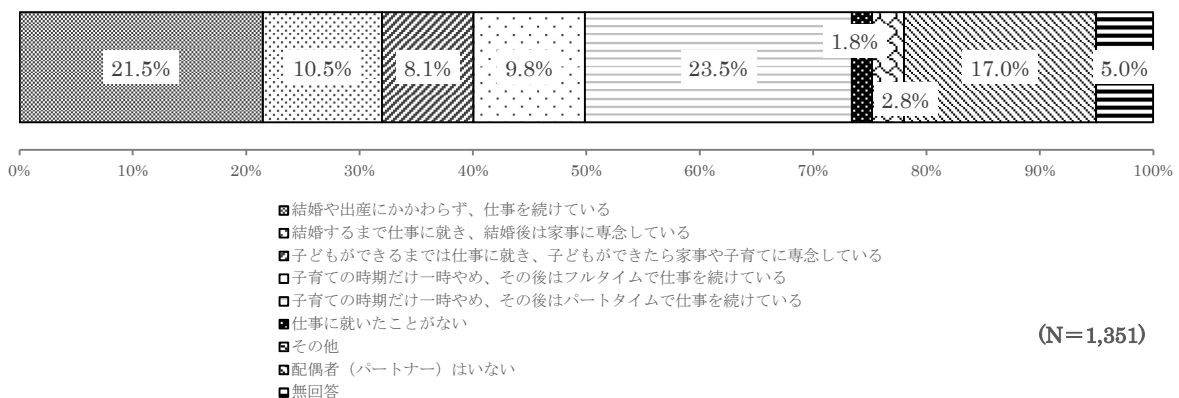
問8 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。



問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は配偶者(パートナー)についてお答えください。(〇は1つ)

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)」が23.5%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(続けていた/続けるつもり)」が21.5%となっています。

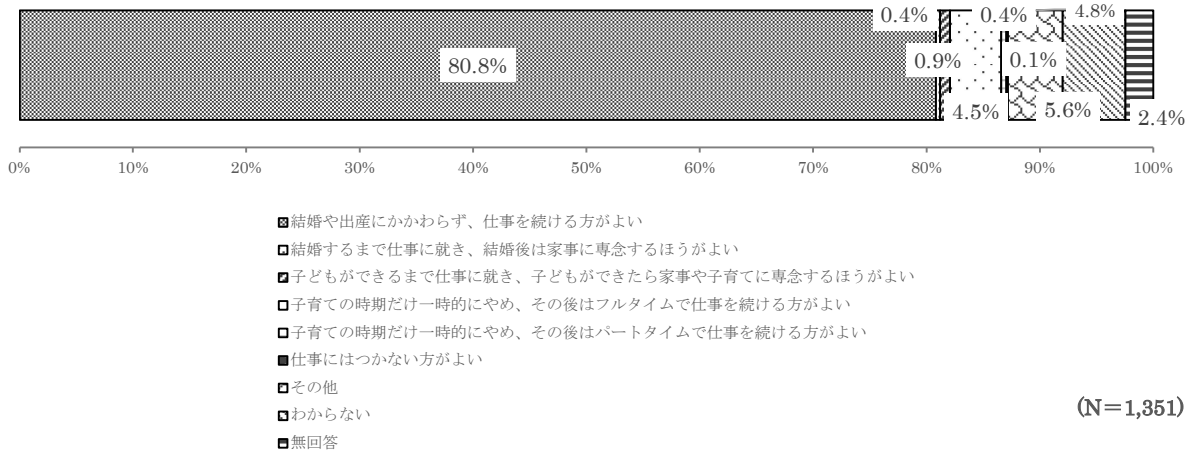
問9 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は配偶者(パートナー)についてお答えください



問 10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は 1 つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 80.8%と大きく割合を占めています。
女性も男性も「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」の割合が 80%を超え、大きく割合を占めております。

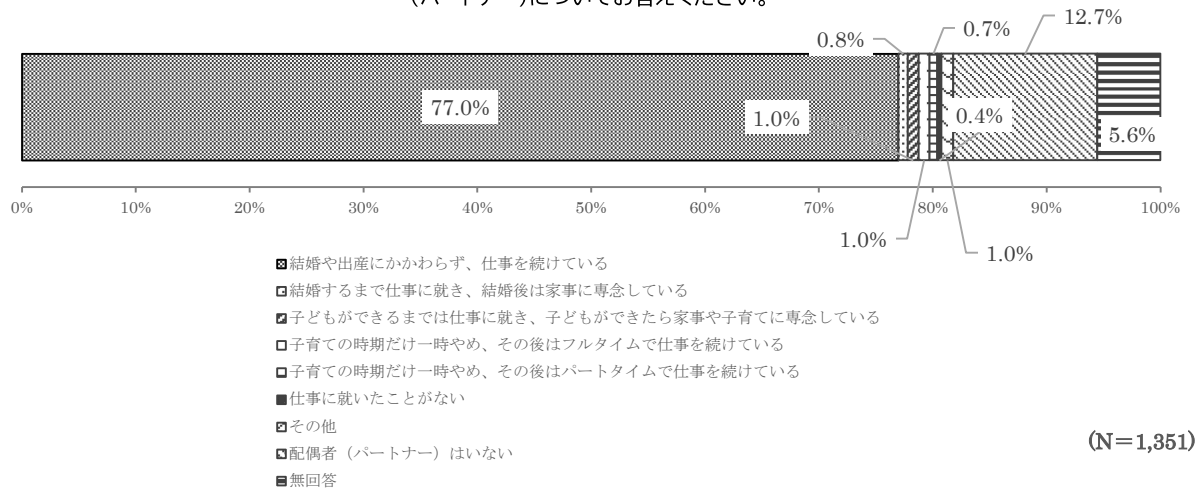
問10 男性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。



問 11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性は配偶者（パートナー）についてお答えください（〇は 1 つ）

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている（続けていた／続けるつもり）」が 77.0%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）はいない」が 12.7%となっています。

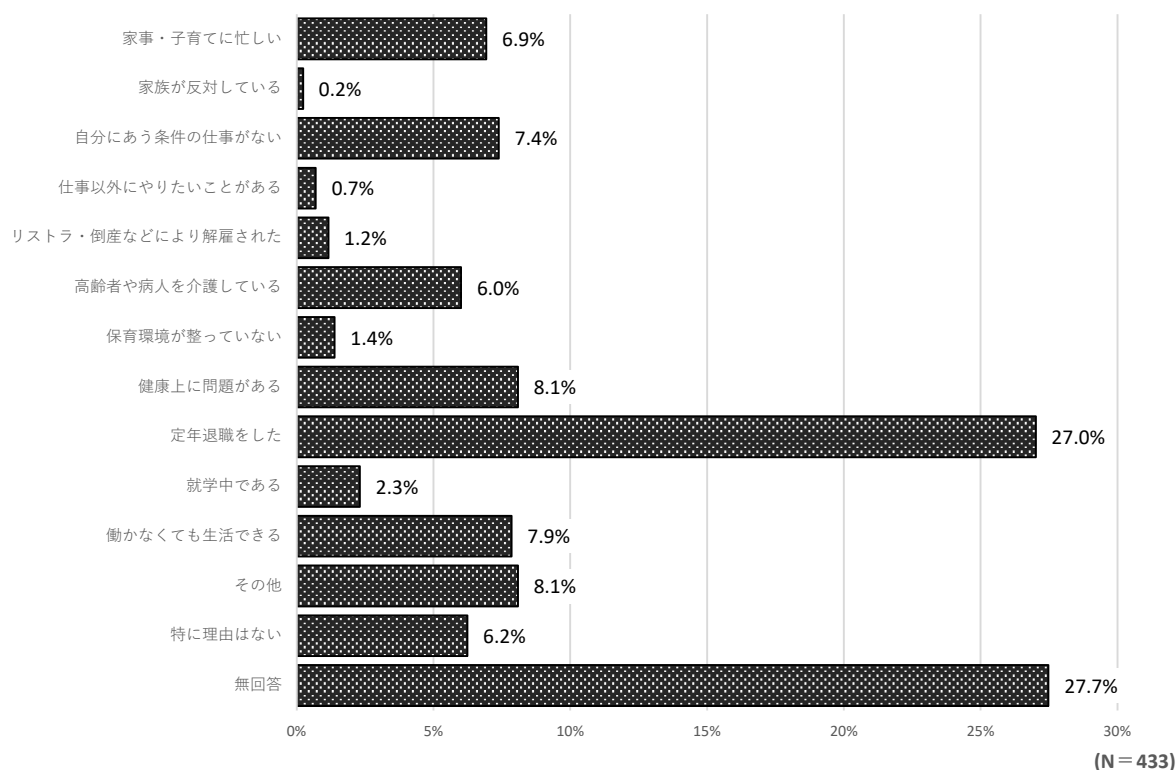
問11 男性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。男性はご自身について、女性は配偶者（パートナー）についてお答えください。



問 12 収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

全体では、最も高いのは「無回答」の27.7%で、次いで「定年退職をした」の27.0%と割合が高く、他の理由においては10.0%未満となっております。

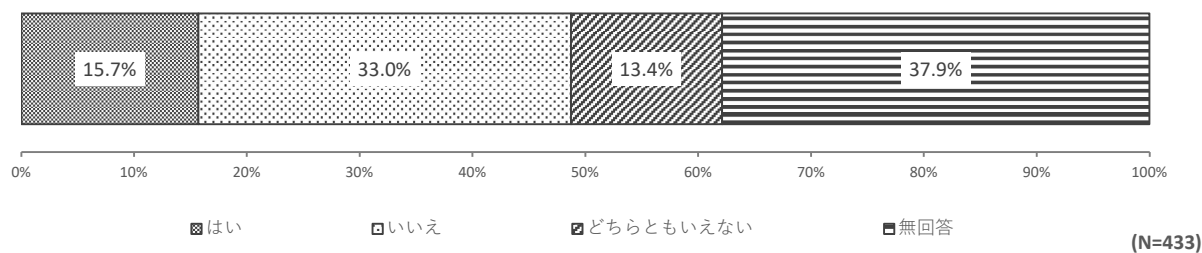
問12 あなたが、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



問 12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。(〇は1つ)

「いいえ」が33.0%と最も高く、次いで「はい」が15.7%、「どちらともいえない」が13.4%となっています。

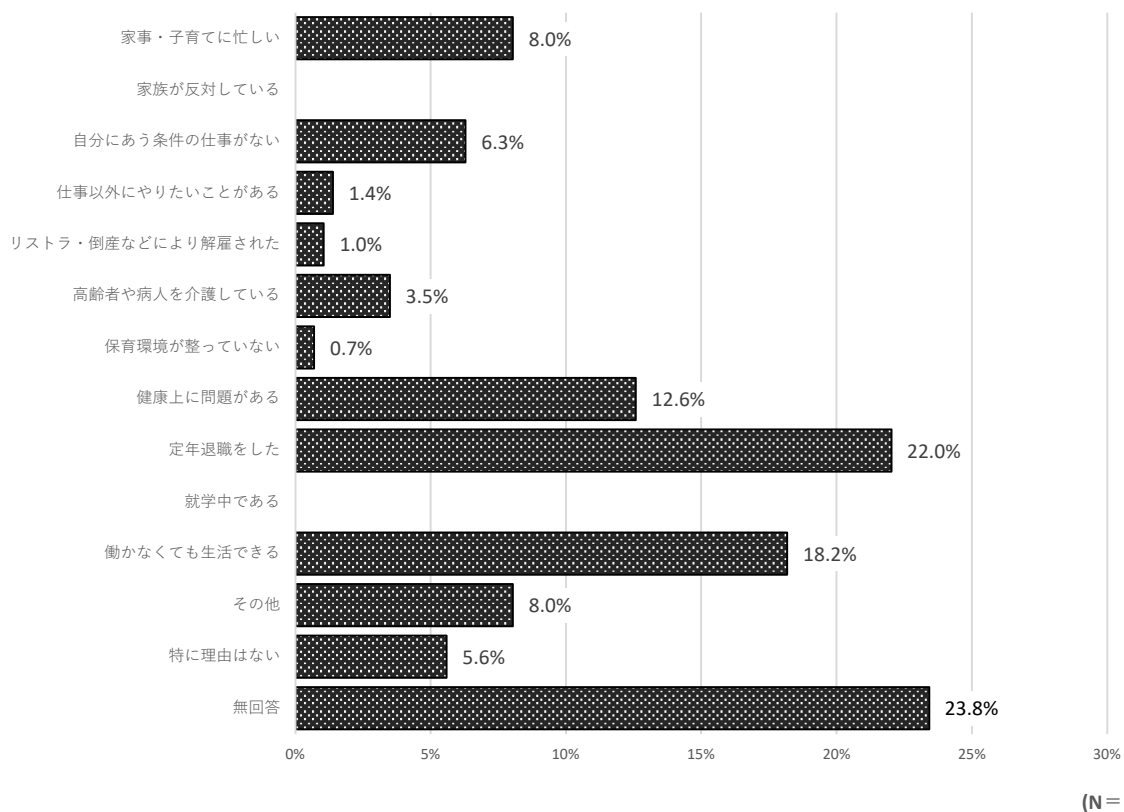
問12-1 あなたは今後働きたいとお考えですか。



問 13 配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていない方にお尋ねします。あなたの配偶者（パートナー）が収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

全体では、「定年退職をした」が22.0%と高い割合となっています。

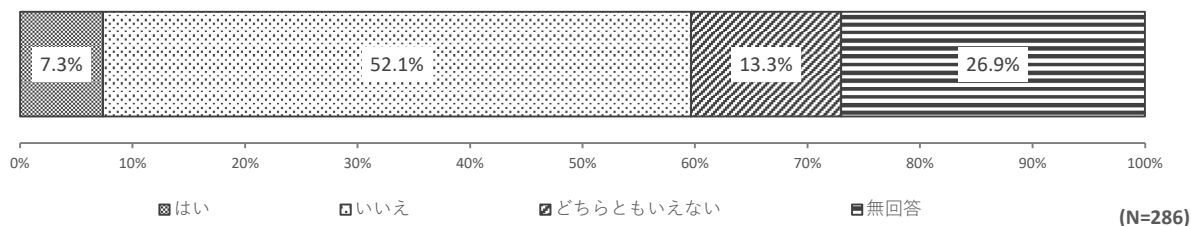
問13 あなたの配偶者(パートナー)が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。



問 13-1 あなたの配偶者（パートナー）は今後働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

「いいえ」が52.1%と高く、次いで「どちらともいえない」が13.3%、「はい」が7.3%となっています。

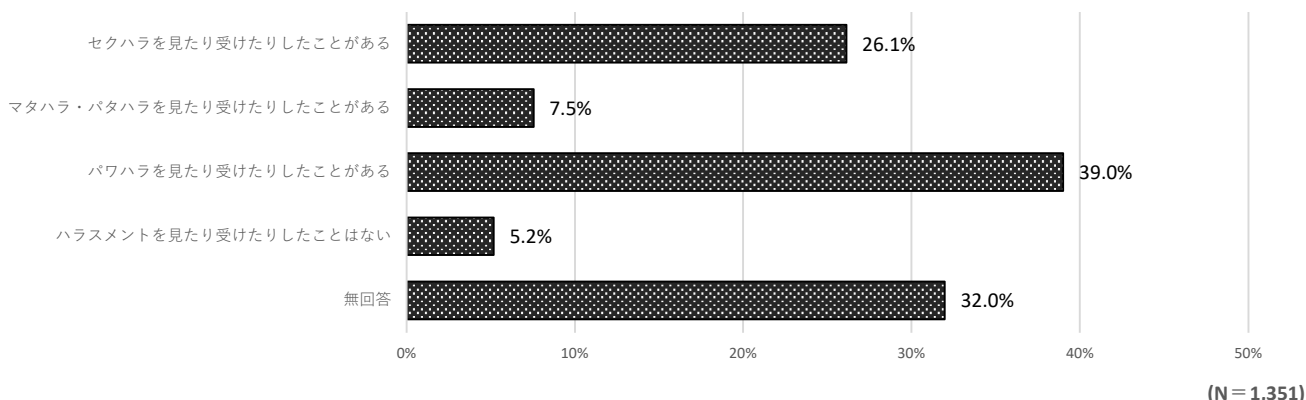
問13-1 あなたの配偶者(パートナー)は今後働きたいとお考えですか。



問 14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

「パワハラを見たり受けたりしたことがある」が39.0%と最も高くなっています。

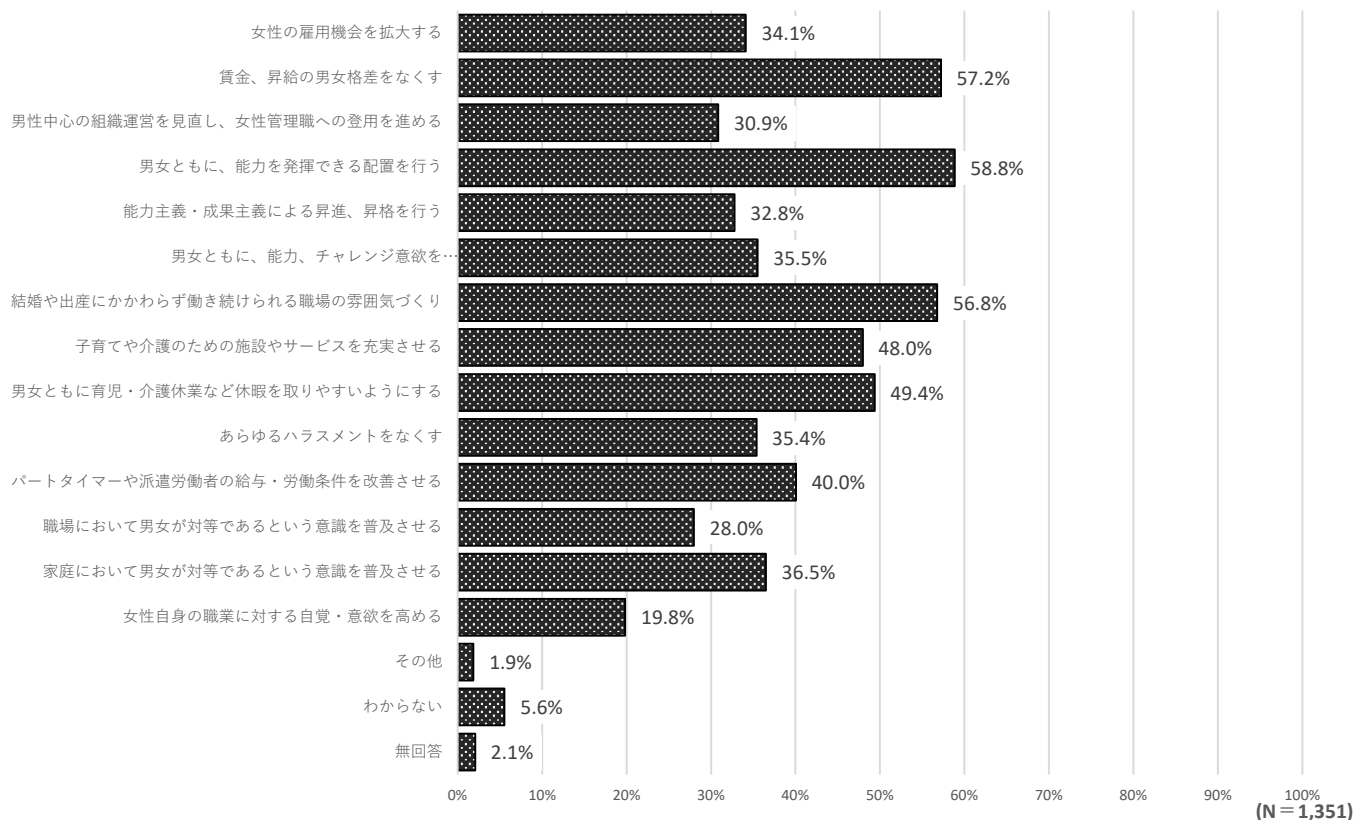
問14 あなたは次のようなことを見たり受けたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)



問 15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

最も多かったのは「賃金、昇給の男女格差をなくす」と「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」と「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気づくり」で、60%に近い割合です。

問15 男女が対等に働いたり、地域も含めた社会の様々な場面で能力を活かして活躍するためには、どのようなことが必要だと思いますか。



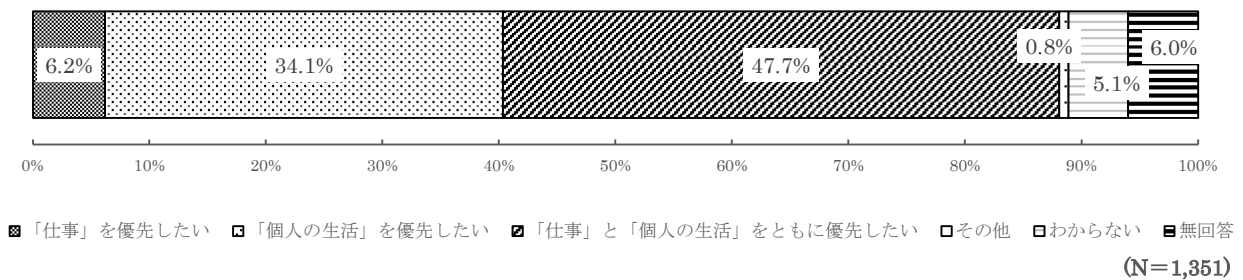
E 仕事と生活の調和について

問 16 あなたは、生活の中で仕事と個人の生活（家庭、地域活動など）でどちらを優先しますか。（1）あなたの希望と（2）現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。（それぞれについて〇は1つ）

（1）希望（〇は1つ）

全体では「仕事と個人の生活をともに優先したい」が47.7%と最も高く、次いで「個人の生活を優先したい」が34.1%となっています。

問16 (1)希望



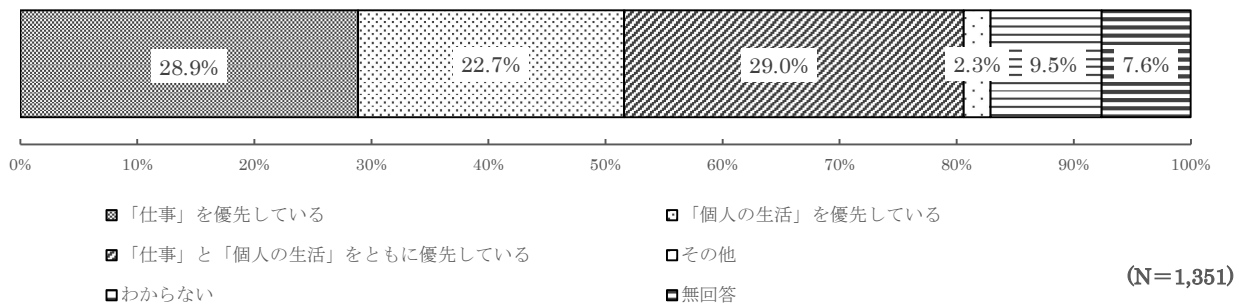
（2）現実（現状）（〇は1つ）

「仕事と個人の生活をともに優先している」が29.0%と最も高く、次いで「仕事を優先している」が28.9%となっています。

希望と現実（現状）の比較

希望では、「仕事を優先したい」は6.2%でしかなかったのに対して、現実（現状）では、28.9%と、希望と現実（現状）に大きなギャップが生じています。同じく、「仕事と個人の生活を優先したい」、「個人の生活を優先したい」についても、現実（現状）は希望よりも低い割合に留まっており、希望と現実（現状）にギャップが生じています。

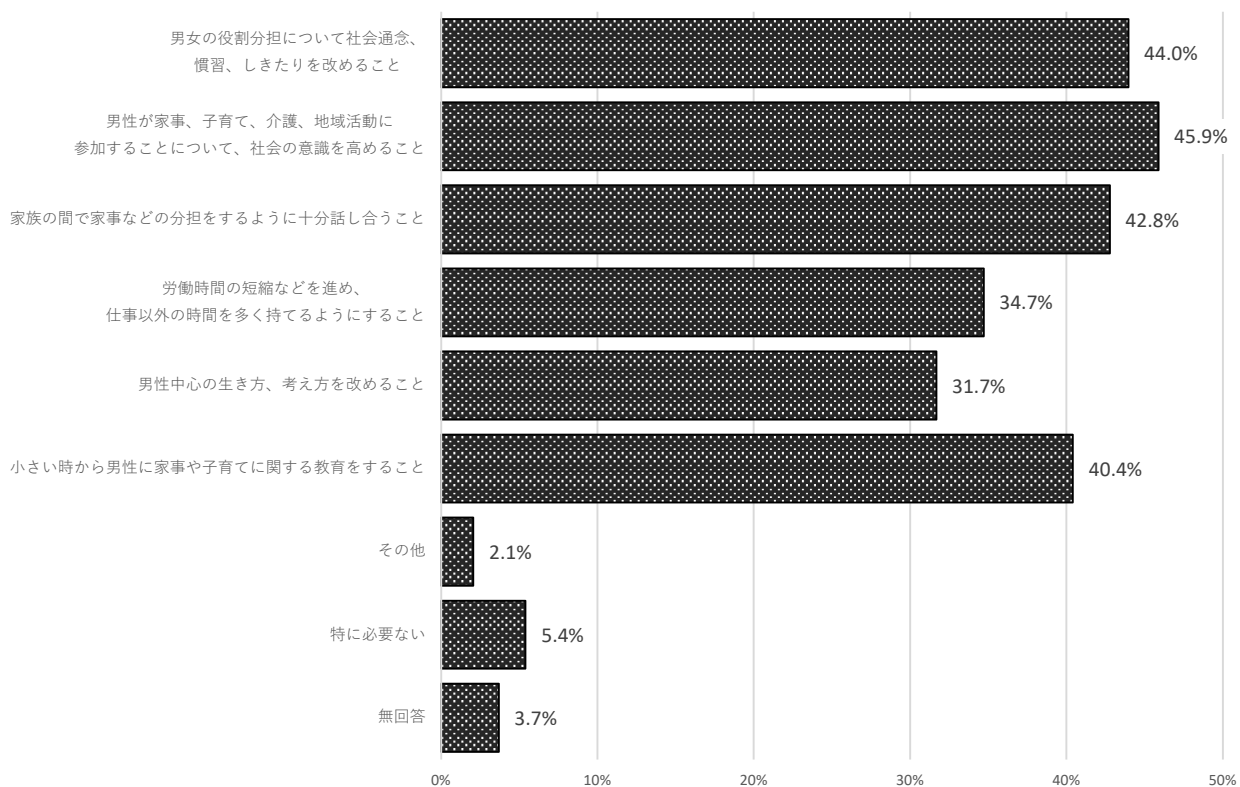
問16 (2)現実(現状)



問 17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

最も多かったのは「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」で45.9%ですが、全般的にばらつきの小さい結果となっています。

問17 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。



(N = 1,351)

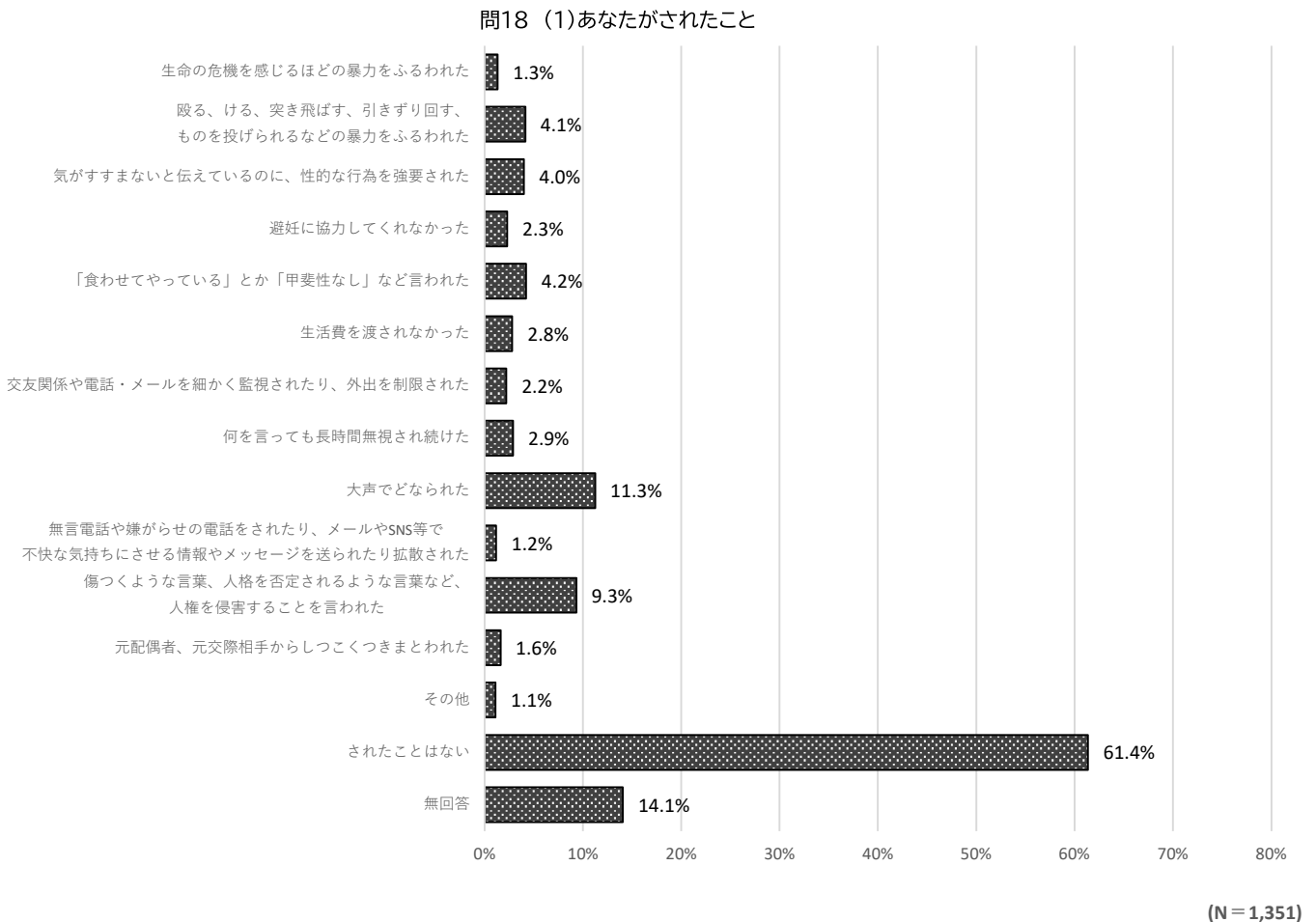
F あらゆる暴力について

問 18 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。（それぞれについて〇はいくつでも）

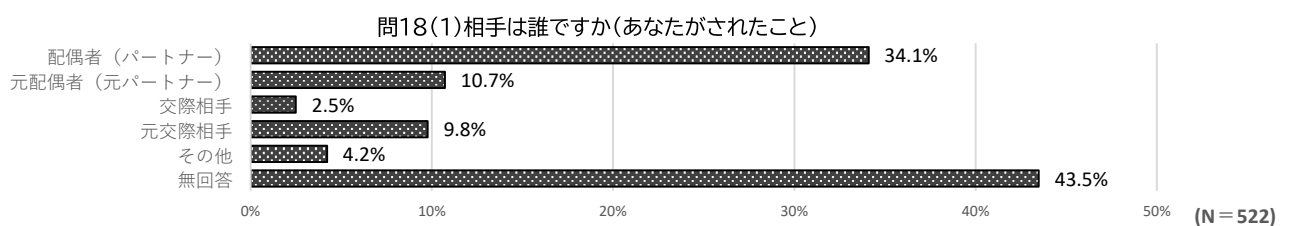
(1) あなたがされたこと

全体では、6割弱の方が「されたことはない」としています。「されたこと」では、「大声でどなられた」が最も多く11.3%、次いで「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が9.3%となっています。

された相手では、「配偶者（パートナー）」が最も多く34.1%となっています。



(された相手)

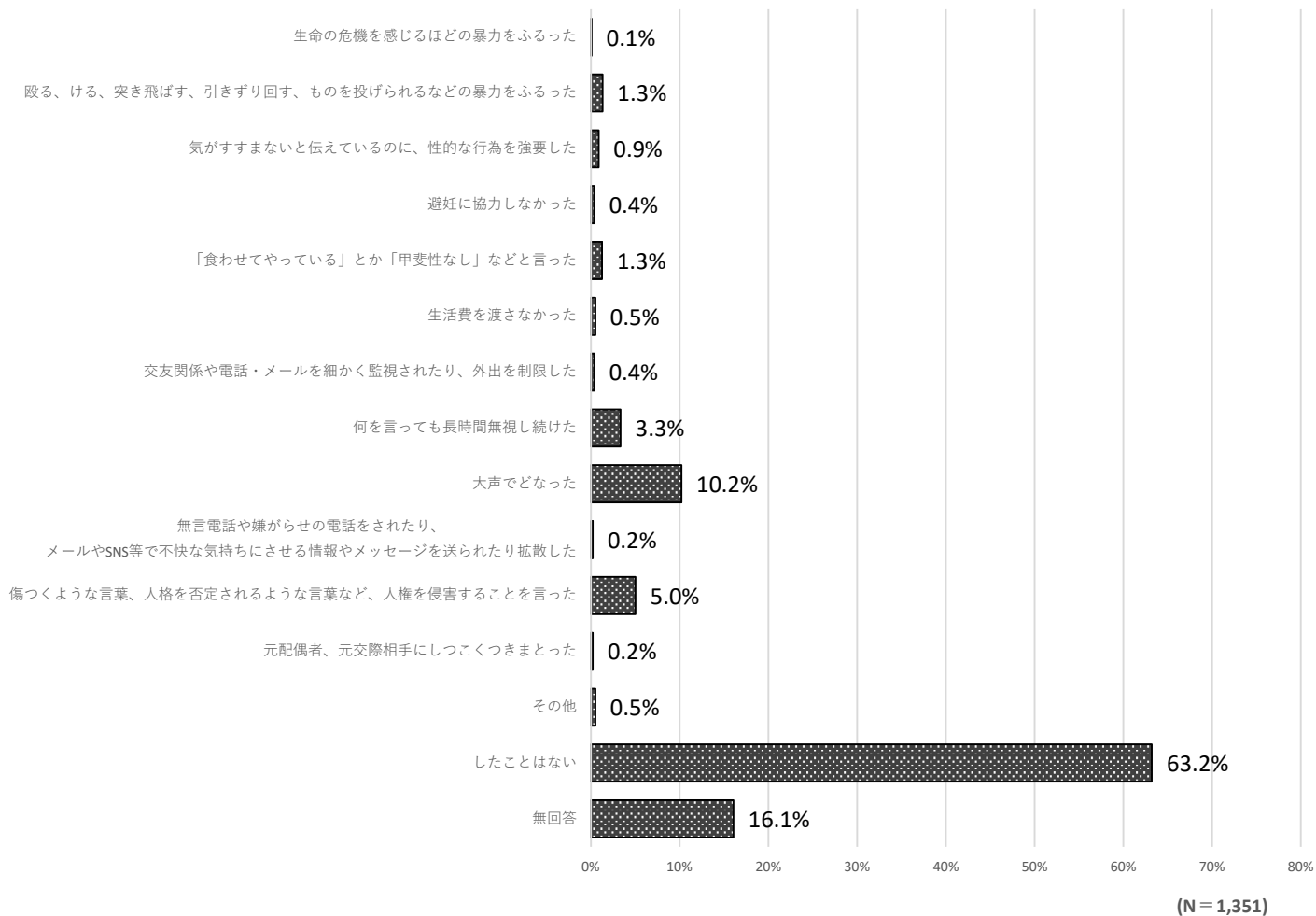


(2) あなたがしたこと

全体では、「したことはない」が6割を越えています。「したこと」では、「大声でどなった」が10.2%で最も高くなっています。次いで「傷つくような言葉、人格を否定する^{する}ような言葉など、人権を侵害することを言った」以下、いずれも5%を下回る割合となっています。

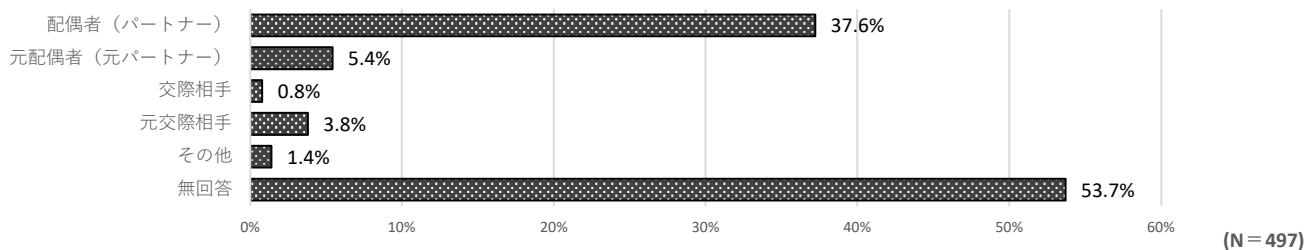
した相手では、「配偶者（パートナー）」の割合が37.6%となっています。

問18 (2)あなたがしたこと



(した相手)

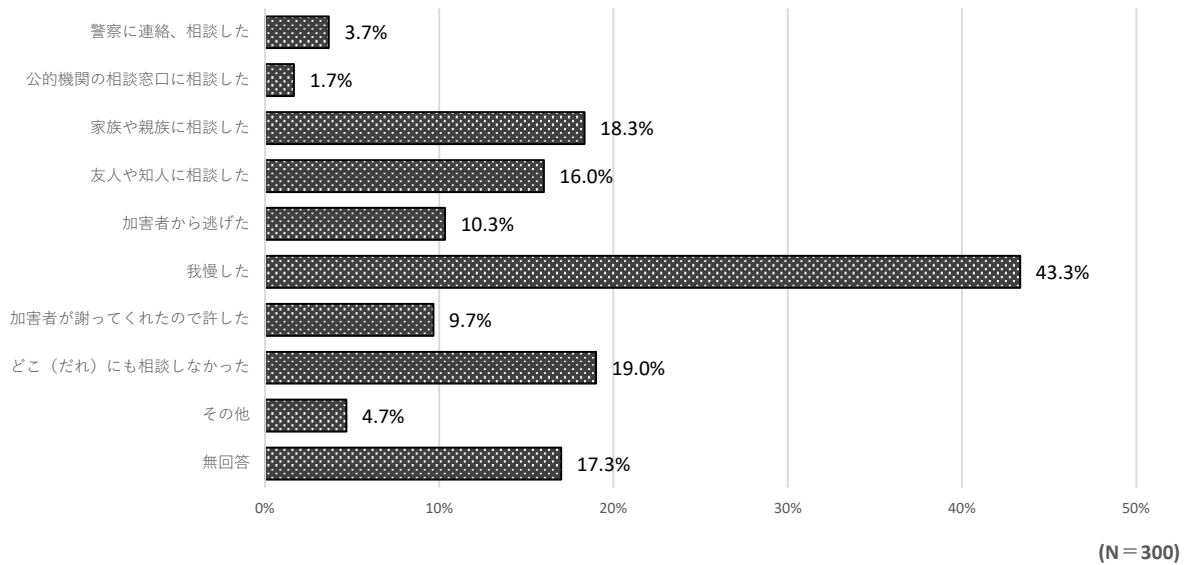
問18(2)あなたがした相手は誰ですか



問 19 問 18 の (1) の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。(〇はいくつでも)

「我慢した」が 43.3%と最も高く、次いで「どこ(だれ)にも相談しなかった」が 19.0%、「家族や親族に相談した」が 18.3%となっています。

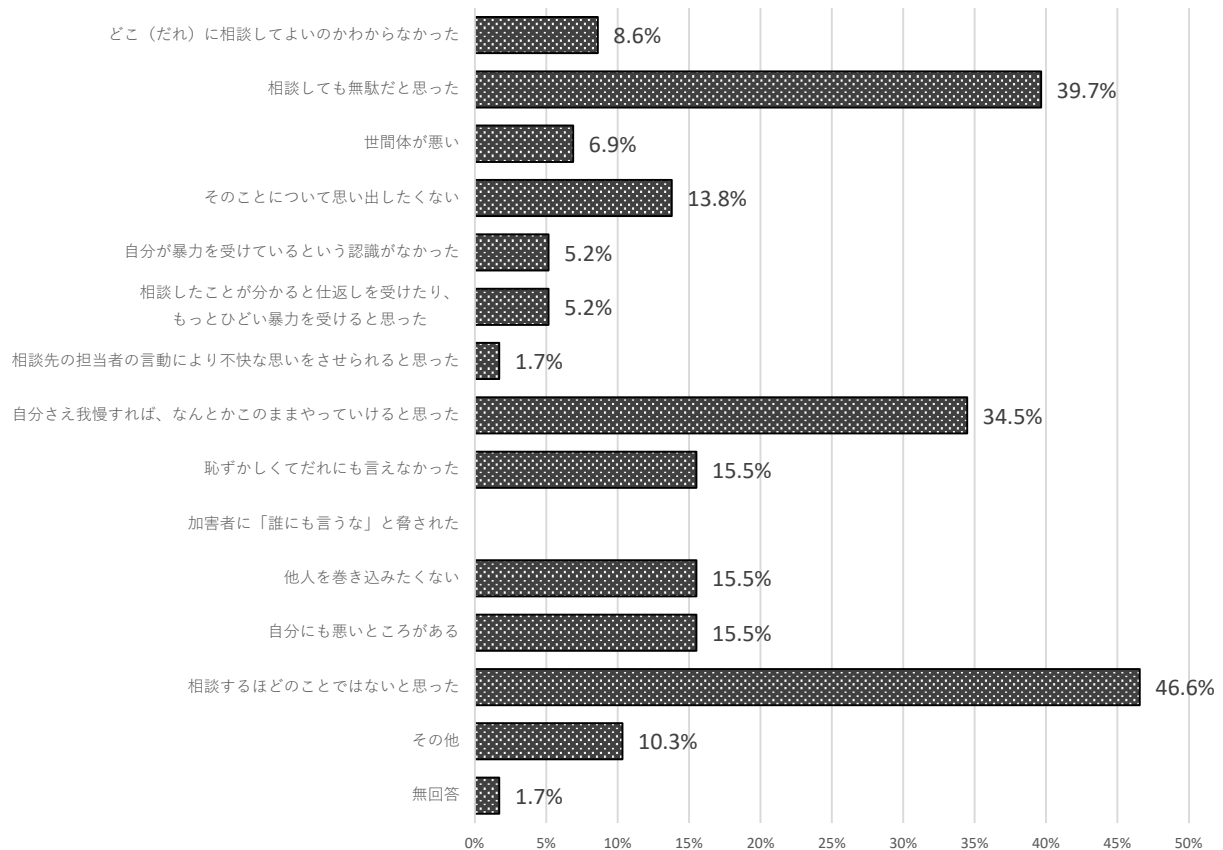
問19 そのような行為を受けられてどうしましたか。



問 20 問 19で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。(〇はいくつでも)

「相談するほどのことではないと思った」が46.6%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が39.7%となっています。

問20 あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。



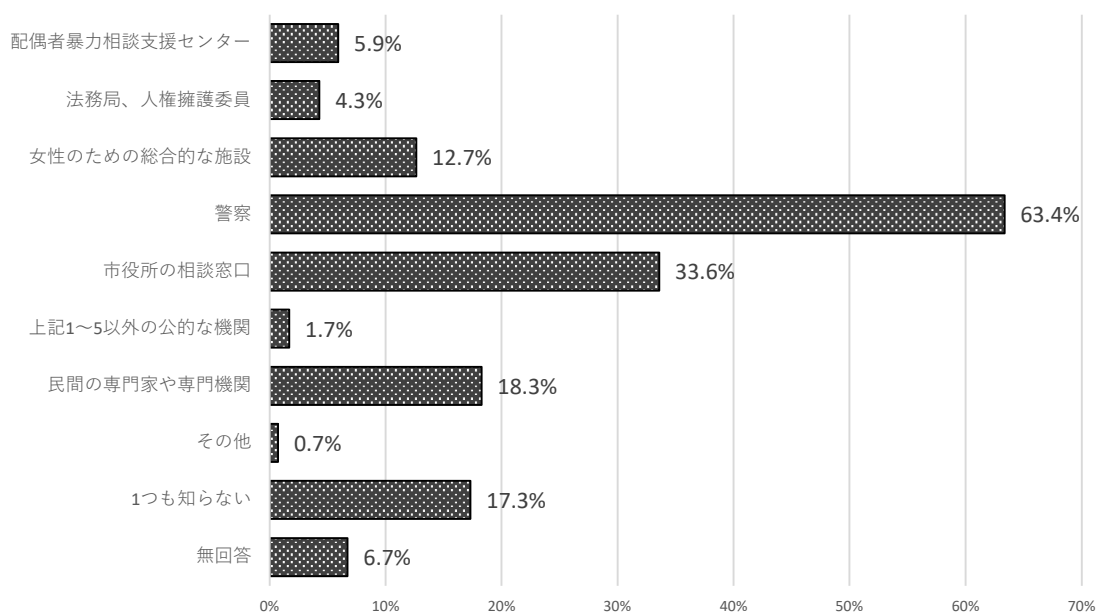
(N=58)

問21 すべての方にお尋ねします。

あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

「警察」が63.4%と、ほかに比べて極めて高い割合となっています。次いで「市役所の相談窓口」で33.6%、「民間の専門家や専門機関（弁護士会、カウンセリング機関、民間シェルターなど）」が18.3%となっています。

問21 暴力について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。

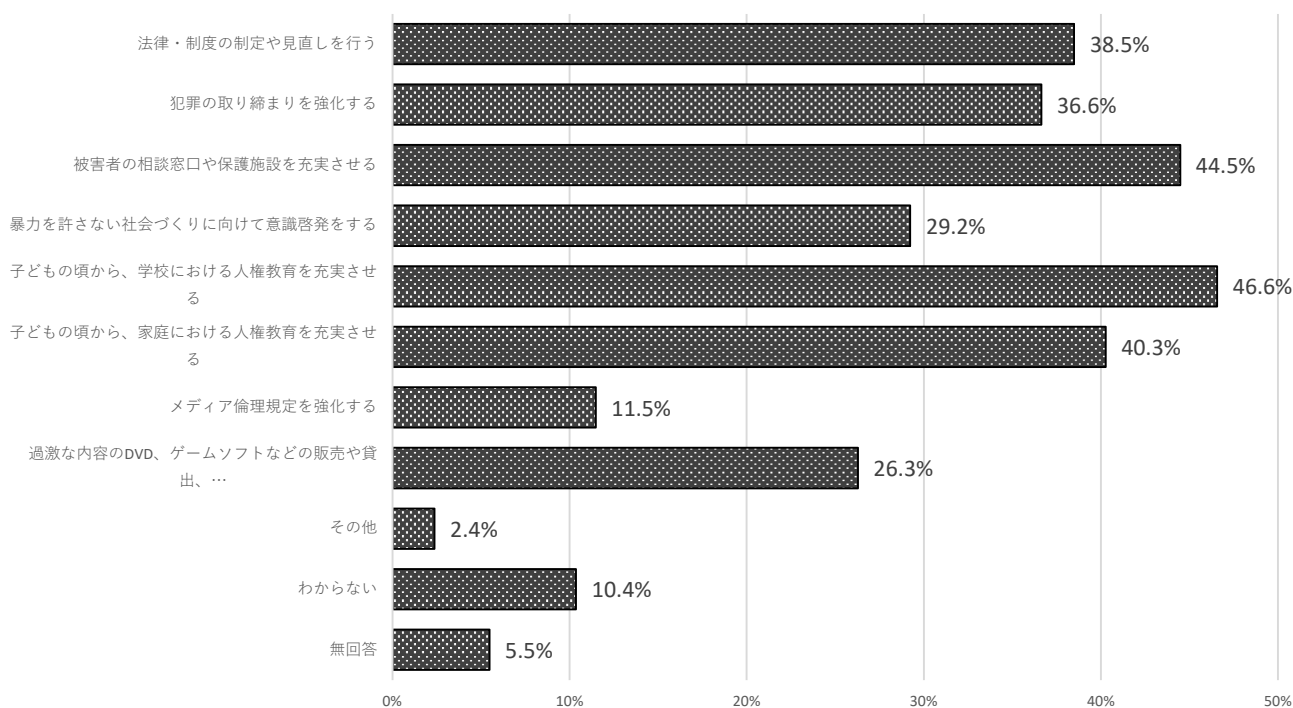


(N = 1,351)

問 22 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にすることについての教育など）を充実させる」が最も高く 46.6%となっています。次いで「被害者の相談窓口や保健施設を充実させる」が 44.5%、「子どもの頃から、家庭における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にすることについての教育など）を充実させる」が 40.3%、「法律・制度の制定や見直しをおこなう」が 38.5%となっています。

問22 暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。



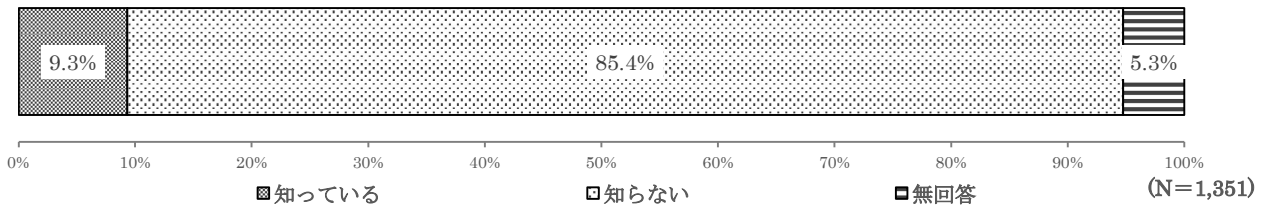
(N = 1,351)

G 男女共同参画社会づくりについて

問23 男女共同参画社会とは「男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会」と内閣府は定めています。男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（八尾市立社会福祉会館2階）を設置しています。あなたは八尾男女市共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（〇は1つ）

「知っている」は9.3%で、「知らない」は85.4%となっています。

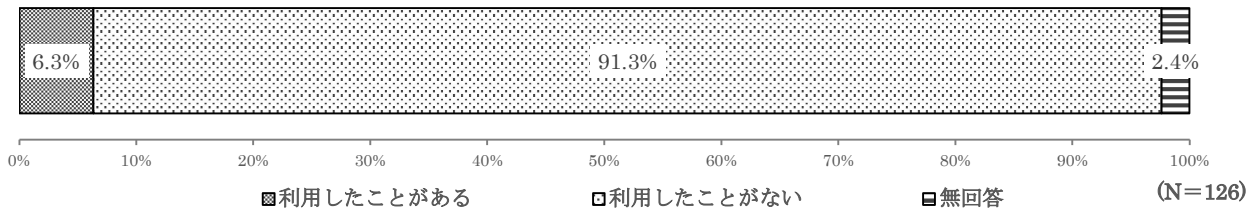
問23 あなたは八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。



問23-1 問23で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。（〇は1つ）

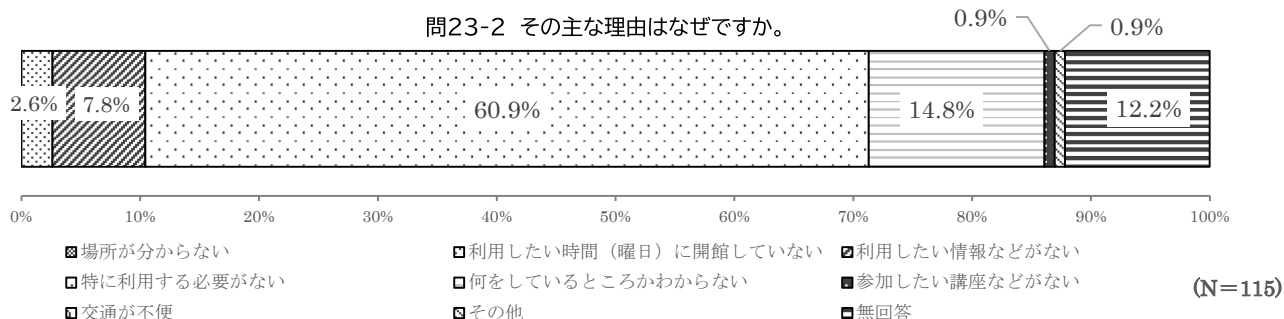
「利用したことがある」が6.3%で、「利用したことがない」が91.3%となっています。

問23-1 八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。



問 23-2 問 23-1 で「2. 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。その主な理由はなぜですか。(〇は1つ)

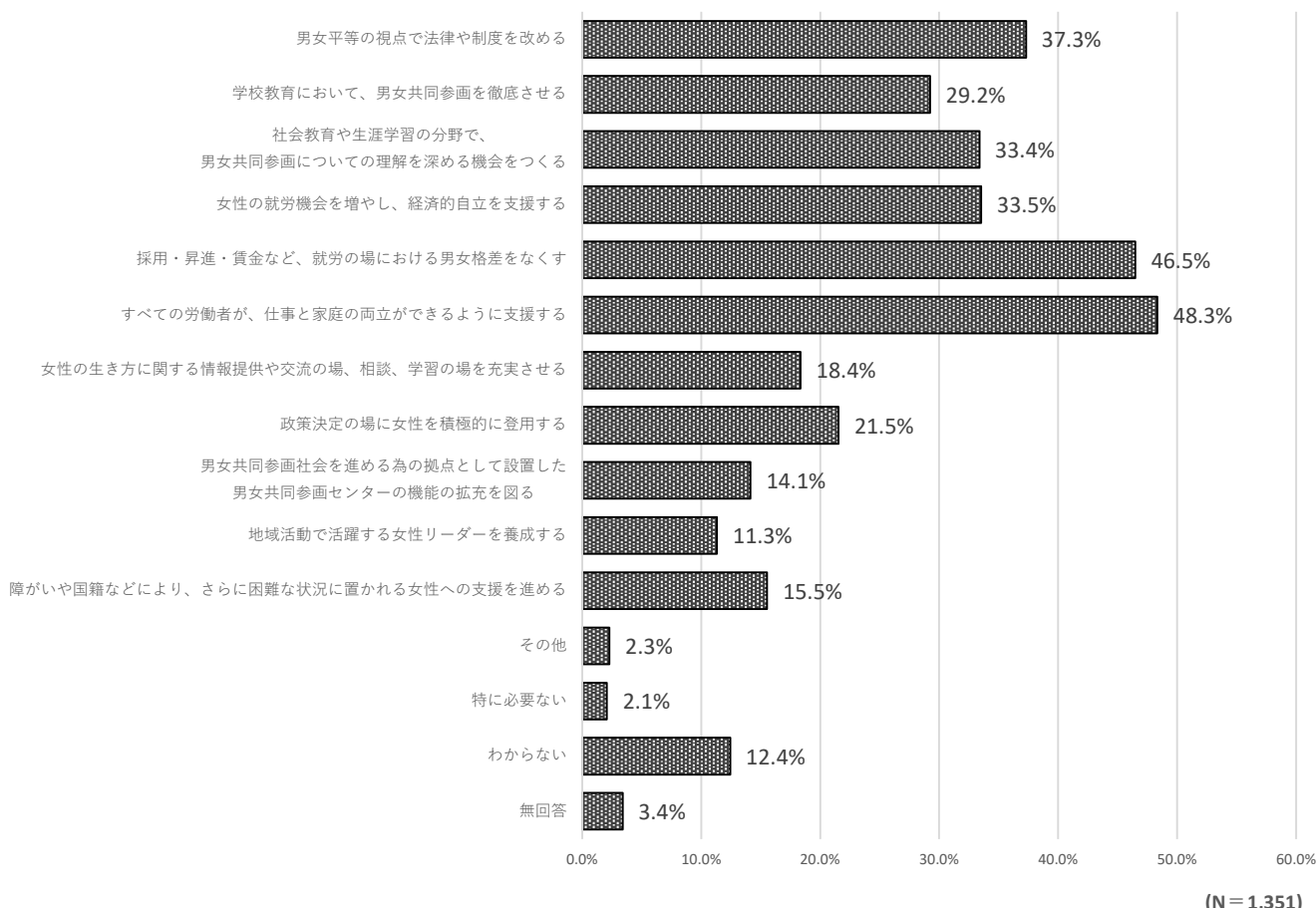
「特に利用する必要がない」が 60.9%と最も高くなっています。次いで「何をしているところかわからない」が 14.8%となっています。



問 24 男女共同参画を進めていく上で、行政(国・府・市)は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「すべての労働者が、仕事と家庭の両立ができるように支援する」が 48.3%と最も高く、次いで「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」が 46.5%となっています。

問24 どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。



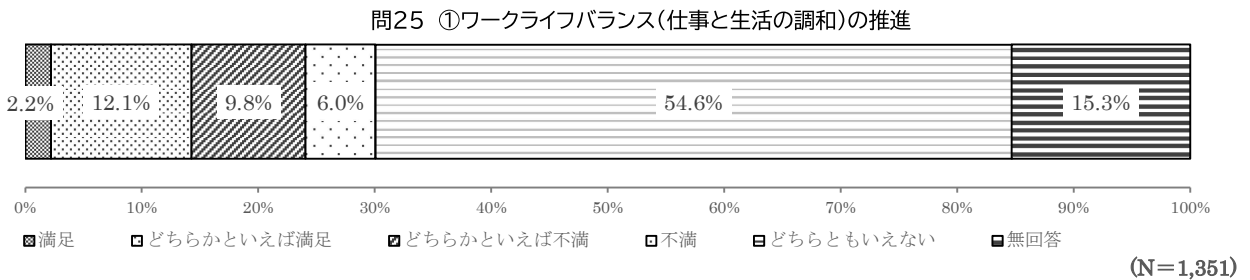
問 25 男女共同参画を推進するための八尾市の次の①～⑩の取り組みについて、現在の満足度をお答えください。(①～⑩のそれぞれについて〇は1つ)

全ての項目について「どちらともいえない」が最も高くなっています。

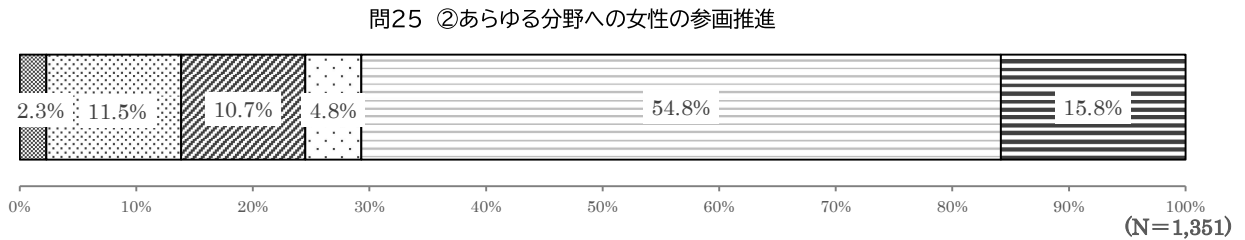
『ほぼ満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた値)では、「④生涯を通じた健康への支援」が23.3%と最も高く、次いで、「①ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進」が14.3%となっています。

『ほぼ不満』(「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた値)では、「⑥様々な困難を抱える人々への支援」が21.4%と最も高く、次いで「⑤女性に対するあらゆる暴力の根絶」が19.3%となっています。

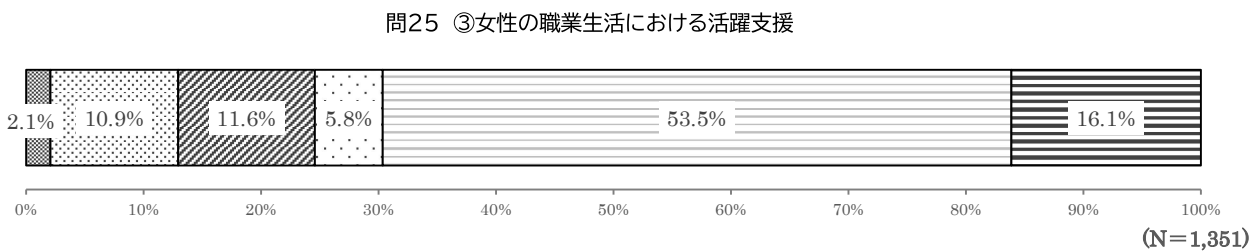
① ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進



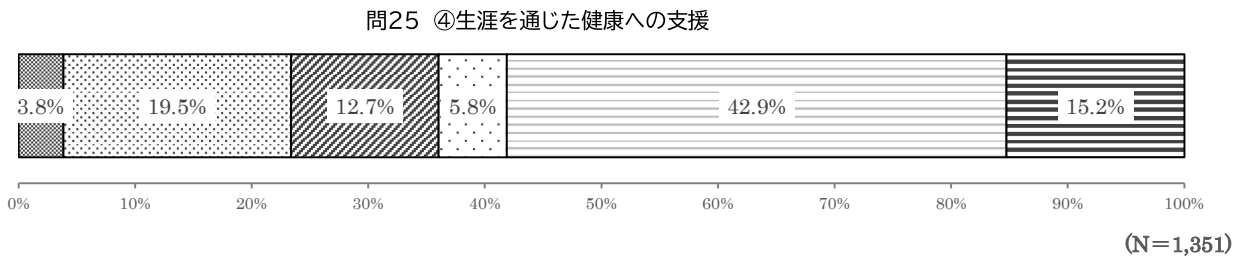
② あらゆる分野への女性の参画推進



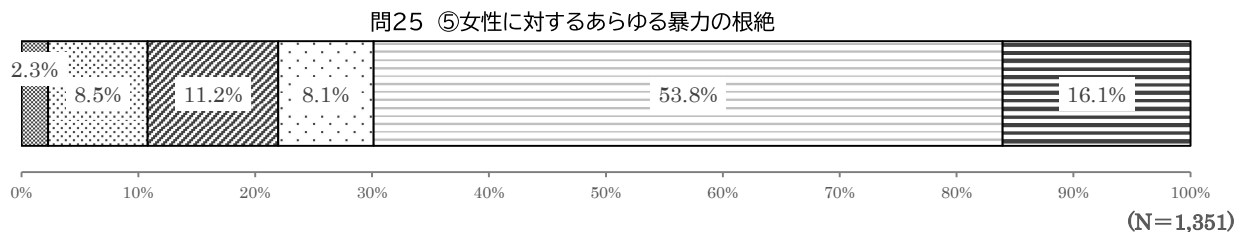
③ 女性の職業生活における活躍支援



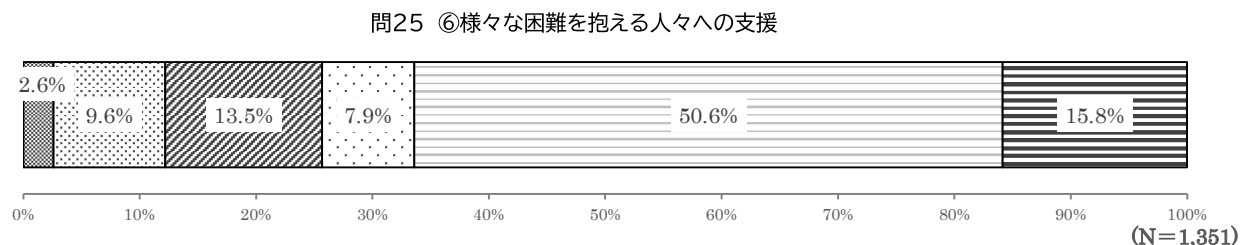
④ 生涯を通じた健康への支援



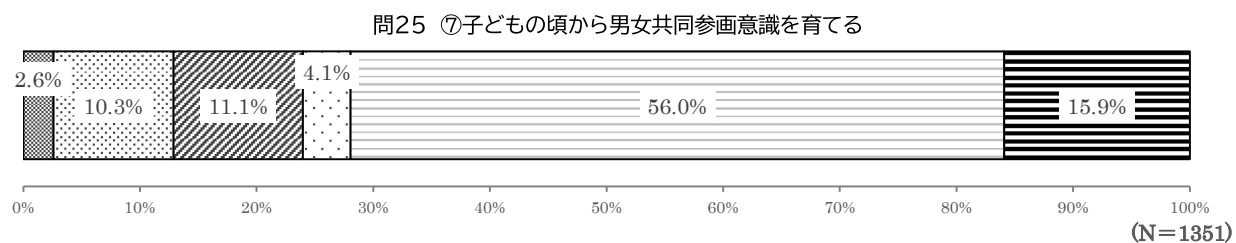
⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶



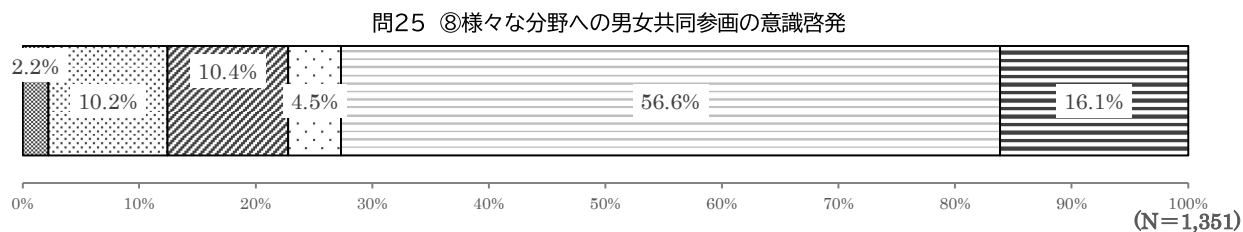
⑥ 様々な困難を抱える人々への支援



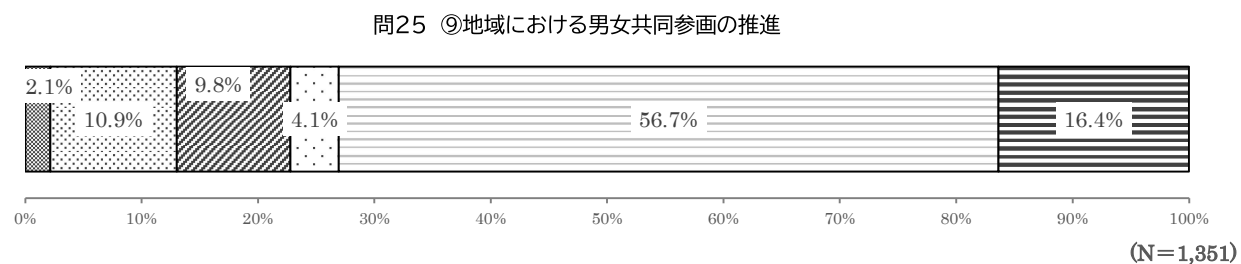
⑦ 子どもの頃から男女共同参画意識を育てる



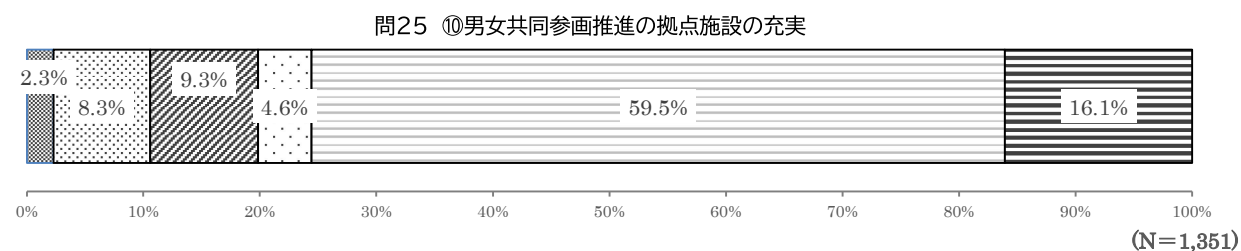
⑧ 様々な分野への男女共同参画の意識啓発



⑨ 地域における男女共同参画の推進



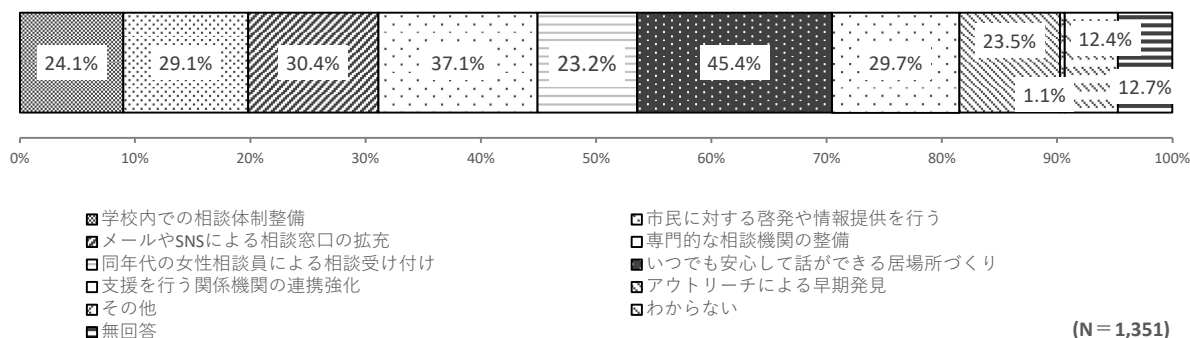
⑩ 男女共同参画推進の拠点施設の充実



問 26 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、令和 6 年 4 月 1 日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援法)が施行されました。一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して、かつ、自立して暮らせる社会の実現をめざすための法律です。困難な問題を抱える女性が、支援につながりやすい体制をつくるために、必要だと思う取り組みは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では『いつでも安心して話せる居場所づくり』が 45.4%と最も高く、次いで『専門的な相談遺憾の整備・支援を行う関係機関の連携強化』が 37.1%となっています。

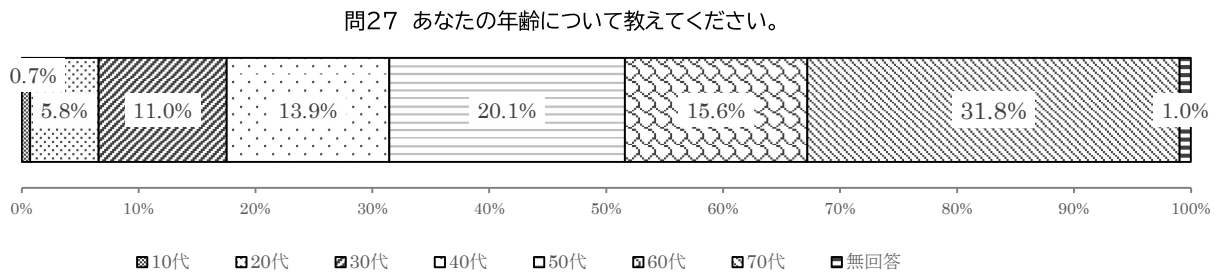
問26 必要だと思う取り組みは何ですか。



H あなた自身について

問27 あなたの年齢は（〇は1つ）

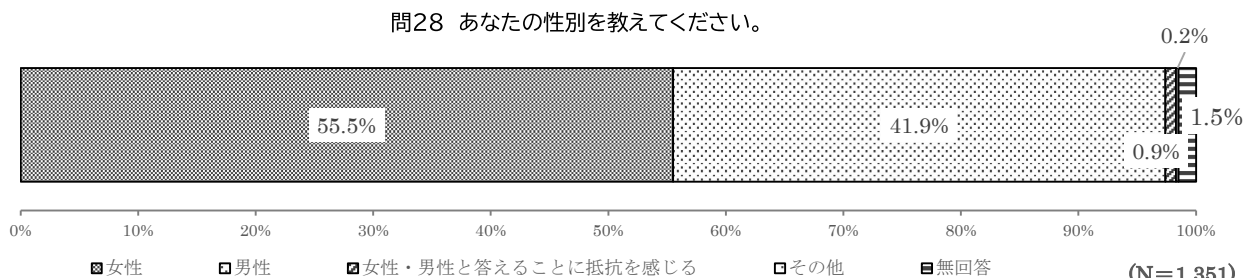
「70代」が31.8%と最も多く、次いで「50代」が20.1%、「60代」が15.6%となっています。



(N=1,351)

問28 あなたの性別は（〇は1つ）

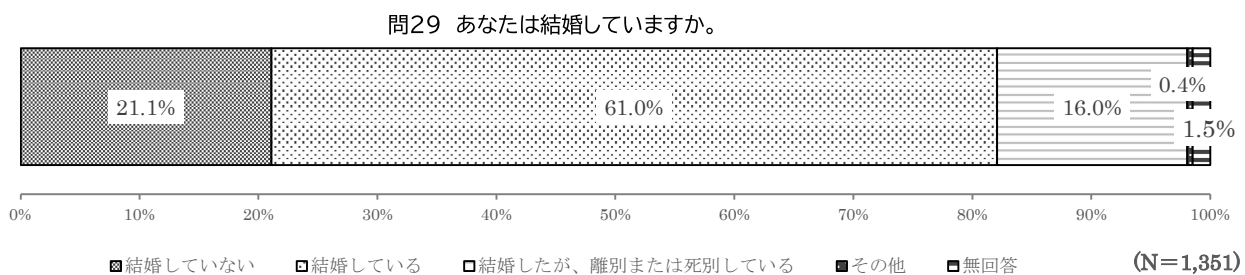
「女性」が55.5%、「男性」が41.9%、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」が0.9%となっています。



(N=1,351)

問29 あなたは結婚していますか。（事実婚を含む）（〇は1つ）

「結婚している」が61.0%と最も高く、次いで「結婚していない」が21.1%、「結婚したが、離別又は死別した」が16.0%となっています。

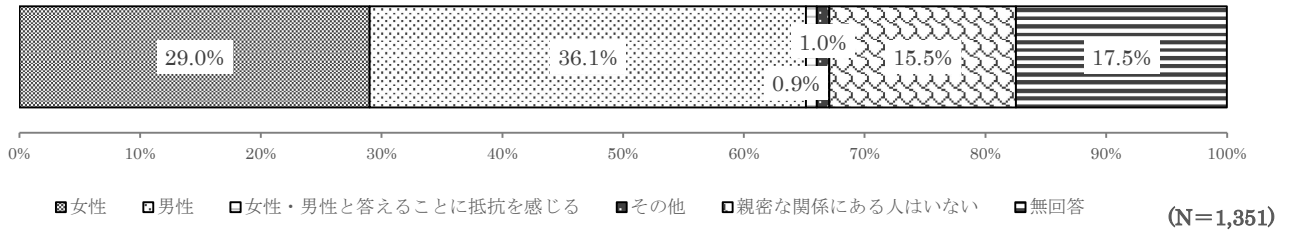


(N=1,351)

問 29-1 配偶者（パートナー）や交際相手など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者、元交際相手を含む、複数おられた場合は、一番最近に親密な関係にあった人について）の性別は。（〇は一つ）

配偶者（パートナー）や交際相手など、親密な関係にある人の性別は「男性」が36.1%と最も高く、次いで「女性」が29.0%、「親密な関係にある人はいない」が15.5%と続きます。

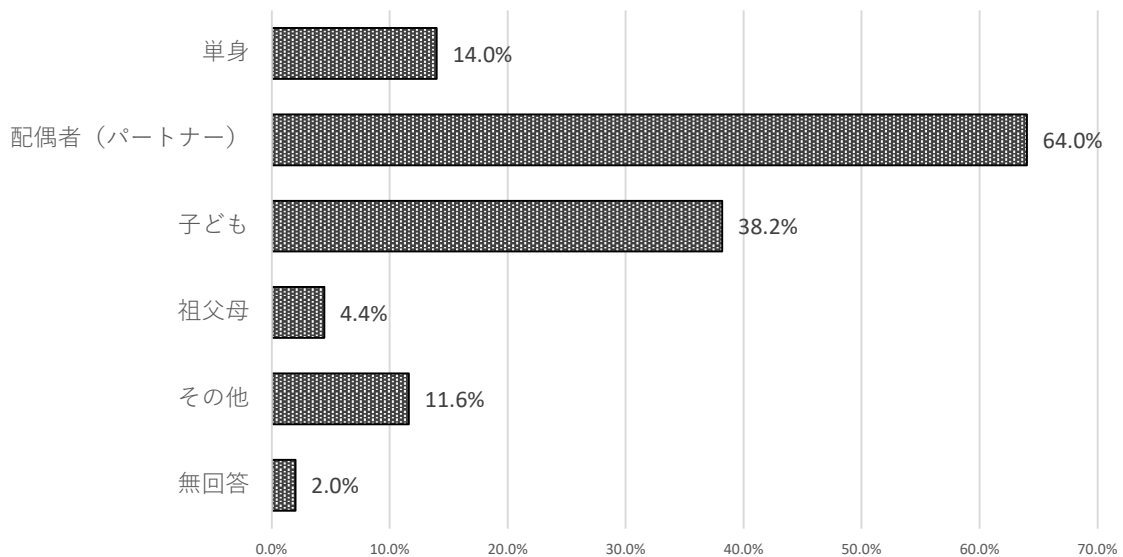
問29-1 配偶者(パートナー)や交際相手など親密な関係にある人の性別を教えてください。



問 30 あなたと一緒に住んでいる人は。（あてはまるものすべてに〇）

「配偶者（パートナー）」が64.0%、次いで「子ども」が38.2%と高く、「単身（1人）」が14.0%となっています。

問30 あなたと一緒に住んでいる人を教えてください。

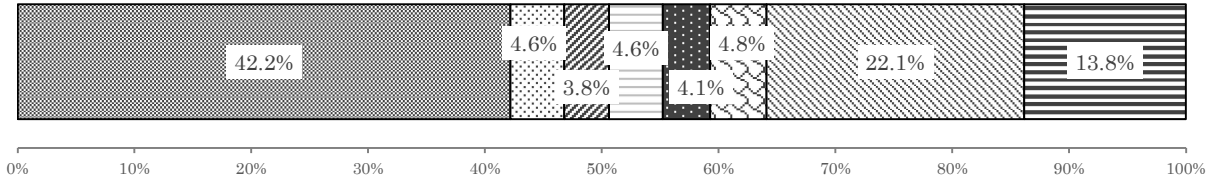


(N = 1,351)

問31 令和7年4月1日時点のあなたが同居している、一番下のお子さんの年齢は。(〇は一つ)

「子どもはいない」が42.2%と最も高く、次いで「20歳以上」が22.1%となっています。

問31 一番下のお子さんの年齢を教えてください。



■子どもはいない ■3歳未満 ■3歳～6歳 ■7歳～12歳 ■13歳～15歳 ■16歳～19歳 ■20歳以上 ■無回答 (N=1,351)

問32 あなた、配偶者（パートナー）の職業は。(それぞれについて〇は1つ)

(1) あなたについて

主な仕事では「正社員・正職員（フルタイム）」が30.1%と最も多く、次いで「無職」が19.2%、「パートタイマーやアルバイト」が16.9%となっています。

勤務地は「八尾市内」が28.6%で最も多く、次に「勤務していない」が22.2%となっています。

通勤時間は「30分未満」が29.5%で最も多く、次に「通勤していない」が21.6%となっています。

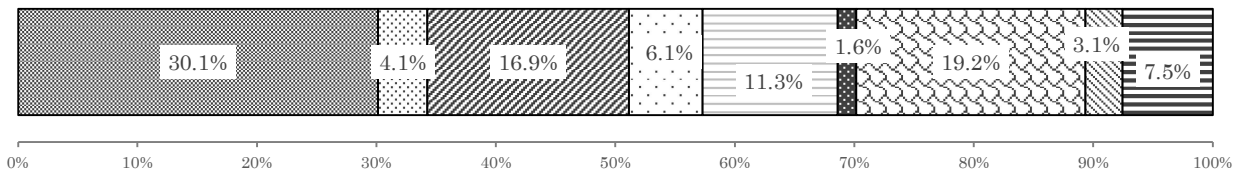
週に働く日数では「4～5日」が41.3%で全体のほぼ半分を占めます。

一日の就労時間では、「なし」の22.6%が最も多く、次に「8時間から10時間未満」が20.9%となっています。

昨年（2024年）の年収では、「103万円未満」が15.8%と最も多く、次に「収入はない」が13.2%となっています。

【主な仕事】

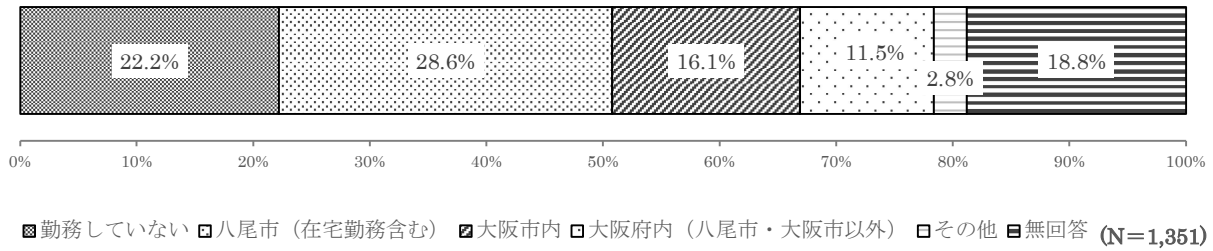
問32 あなたについて「主な仕事」について教えてください。



■正社員・正職員（フルタイム） ■契約社員や派遣社員（フルタイム） ■パートタイマーやアルバイト
 □自営業又は家族従業員 □家事専業 ■在学中
 □無職（家事専業を除く） □その他 ■無回答 (N=1,351)

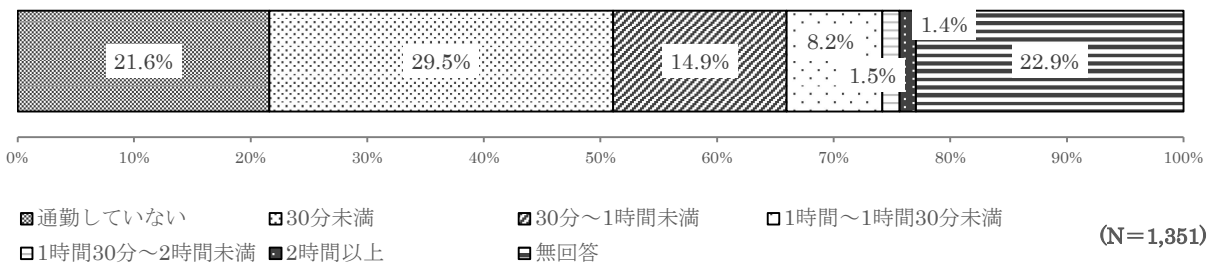
【勤務地】

問32 あなたについて「勤務地」について教えてください。



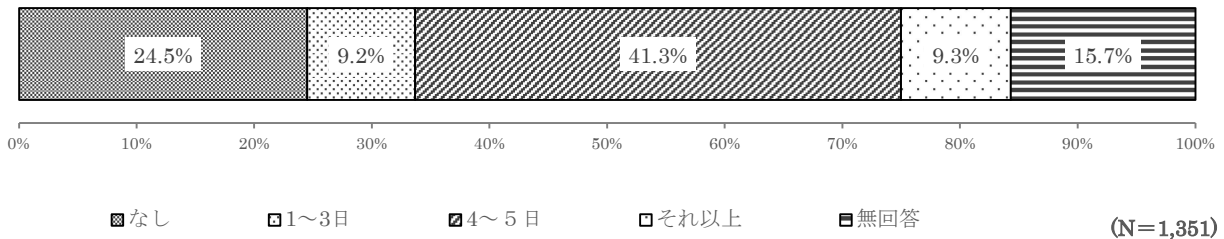
【通勤時間】

問32 あなたについて「通勤時間」について教えてください。



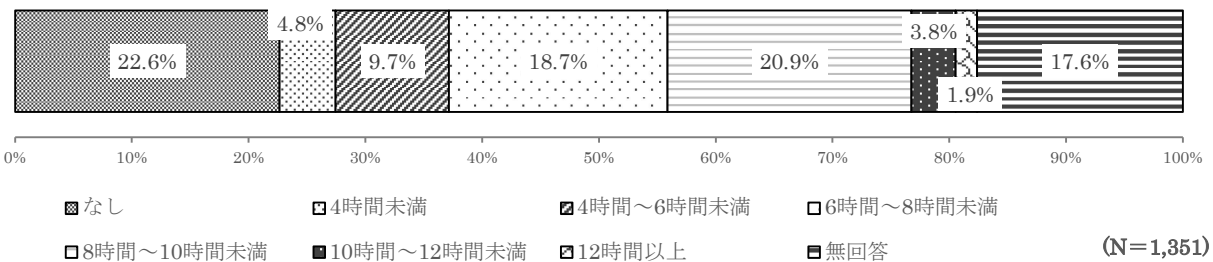
【週におよそ何日働きますか】

問32 あなたについて「週におよそ働く日数」について教えてください。



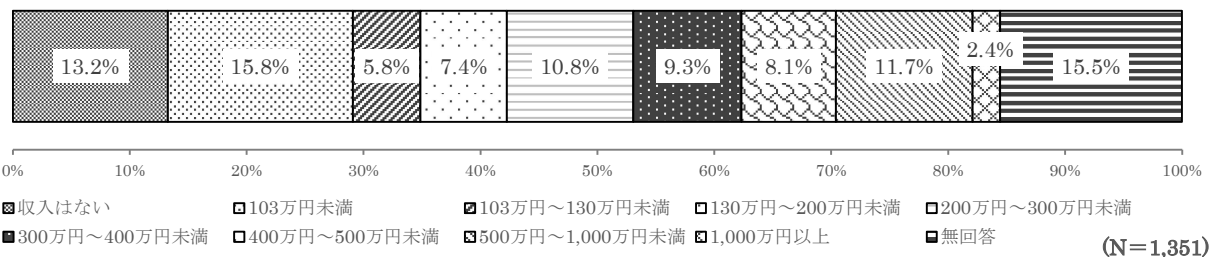
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問32 あなたについて「1日に仕事をする時間」について教えてください。



【昨年（2024年）の年収（税込）】

問32 あなたについて「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



(2) 配偶者（パートナー）について

主な仕事は、最も割合が高いのは「正社員・正職員（フルタイム）」で23.0%、次いで「配偶者（パートナー）はいない」で21.0%となっています。

勤務地は、「八尾市内」の割合が18.7%と最も高く、次いで「勤務していない」が16.5%、「大阪市」が12.3%となっています。

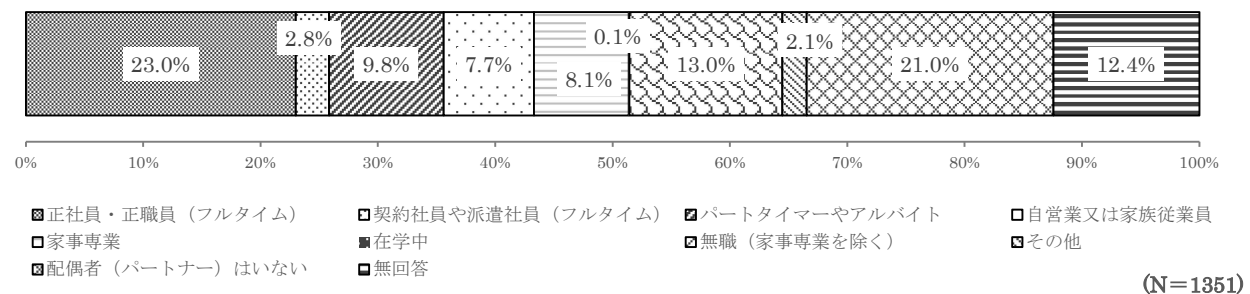
通勤時間は「0分～30分未満」の割合が最も高く18.5%、次いで「通勤していない」が16.5%となっています。

週に働く日数では、「4～5日」が27.6%で最も高く、次いで「なし」が19.1%となっています。

一日の就労時間では、「なし」が18.0%となっており、昨年（2024年）の年収では、「収入はない」が13.2%と最も高くなっています。

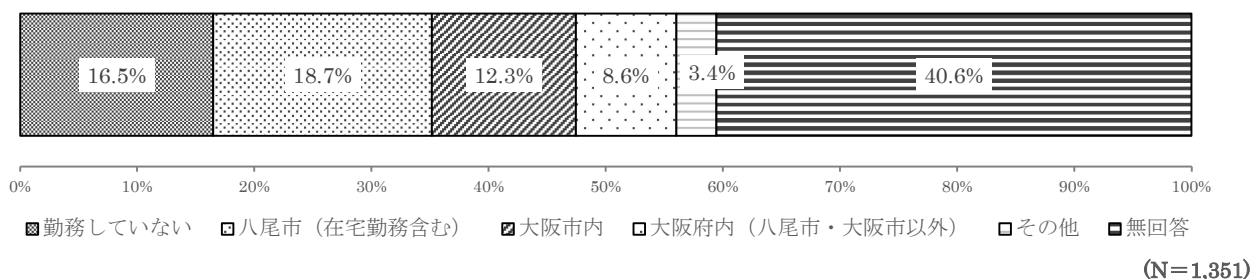
【主な仕事】

問32 配偶者について「主な仕事」について教えてください。



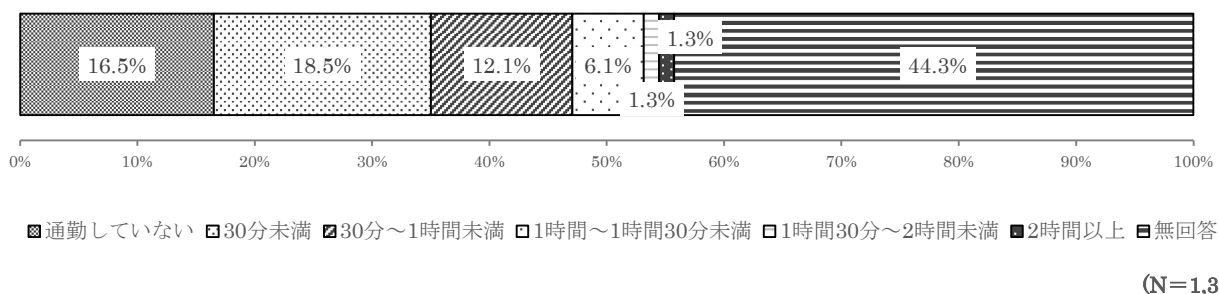
【勤務地】

問32 配偶者について「勤務地」について教えてください。



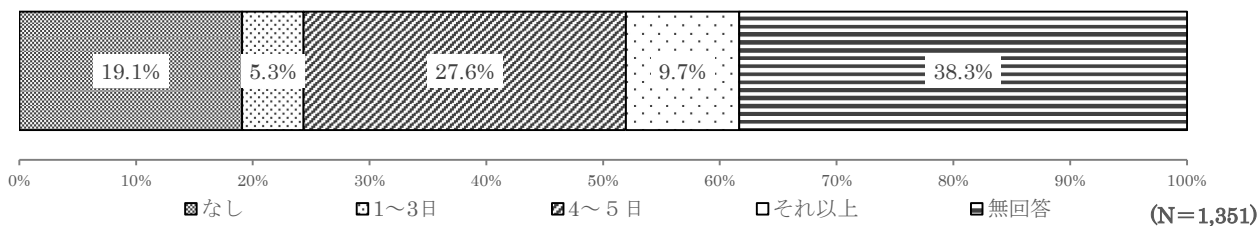
【通勤時間】

問32 配偶者について「通勤時間」について教えてください。



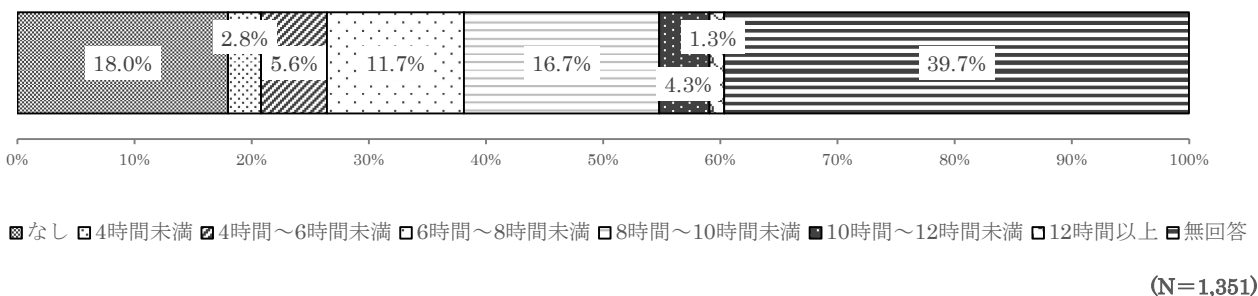
【週におよそ何日働きますか】

問32 配偶者について「週におよそ働く日数」について教えてください。



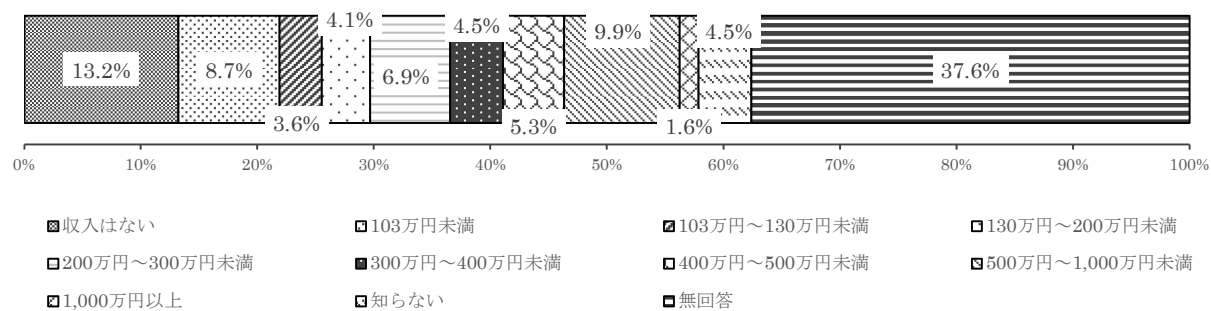
【一日に仕事（在宅就労を含む）をする時間】

問32 配偶者について「1日に仕事(在宅就労を含む)をする時間」について教えてください。



【昨年（2024年）の年収（税込）】

問32 配偶者について「昨年(2024年)の年収(税込)」について教えてください。



自由意見のまとめ

男女共同参画に関する意見を自由記述の形で回答していただき、170件の回答が得られました。以下に、整理・分類し、主な意見を記載します。

分類		件数
1	男女平等に関する意識について	25
2	家庭生活について	13
3	子育て・教育について	17
4	就労について	7
5	仕事と生活の調和について	7
6	あらゆる暴力について	5
7	男女共同参画社会づくりについて	48
8	あなた自身について	7
9	その他	41
集計		170

1.男女平等に関する意識について

意見	件数
男女平等が「男性対女性」の対立構図で語られ、男性側の不利や弱さが無視されている	3
設問や政策が女性寄りで、真の男女平等になっていないと感じる	4
男女は身体的・生物学的に異なり、すべてを同一に扱う平等には無理がある	4
妊娠・出産という女性固有の役割を前提に制度設計すべきだ	3
男女共同参画が女性優遇に見え、実力主義なら人数差は問題ない	2
高齢世代ほど性別による役割意識や固定観念が強い	3
男女の違いを理解し、助け合う形の平等が望ましい	2
男性の意識改革や啓発活動を強化すべきだ	2
子どもの頃から男女平等の意識を育てる教育が重要だ	2
集計	25

2.家庭生活について

意見	件数
男性の育休取得や家事参加を進め、家庭への関与を高めるべき	3
性別役割に縛られず、男女が家庭と仕事を柔軟に分担できる社会が望ましい	2
共働き家庭を支える保育・学童・一時預かり等の支援が不足している	2
PTA や地域活動が母親前提で、家庭への負担が偏っている	1
扶養控除の拡充や教育・教員待遇改善など、家庭の経済基盤を強化すべき	2
子どもは親が育てることを基本とし、働き方は家庭ごとに選択できるべき	1
夫婦円満・家庭円満を社会の基盤として重視すべき	1
ひとり親家庭・介護負担家庭・離婚未成立世帯への支援が不十分	1
集計	13

3.子育て・教育について

意見	件数
男性の育休取得や家事参加を進め、家庭への関与を高めるべき	2
性別役割に縛られず、男女が家庭と仕事を柔軟に分担できる社会が望ましい	5
共働き家庭を支える保育・学童・一時預かり・健診体制等の支援が不足している	5
PTA や地域活動が母親前提で、家庭への負担が偏っている	1
扶養控除の拡充や教育費軽減など、家庭の経済的負担を軽くすべき	1
子どもは親が育てることを基本とし、家庭ごとに働き方を選べる社会がよい	2
子どもが健やかに育つため、家庭環境や親の関わりを重視すべき	1
集計	17

4.就労について

意見	件数
女性の管理職登用を進め、意思決定の場への参画を拡大すべき	1
男女格差なく、個人の特性や意欲を尊重して働ける職場環境が必要	1
103万円の壁など制度が曖昧で、パート就労を阻害している	1
女性の賃金が低く、非正規・公的業務・シングルマザーへの待遇改善と収入向上が必要	4
集計	7

5.仕事と生活の調和について

意見	件数
無理のない業務量の設定や長時間労働の是正など、働き方を根本から見直すべき	3
出産・介護・障害などに対応できるリモートワークや在宅就労の環境整備と保障充実が必要	1
子育て期は無理をせず、必要に応じて一時的に仕事を離れ再就職できる柔軟な働き方が望ましい	1
育休等の制度利用者だけでなく、残る同僚への負担軽減など周囲へのフォローも必要	1
仕事や家庭から離れてリフレッシュできる場や情報へのアクセスが不足している	1
集計	7

6.あらゆる暴力について

意見	件数
配偶者や家庭内での暴力から女性や子どもを守るため、相談しやすい窓口や環境整備が必要	1
DV 被害者に支援が届くよう、周知方法や広報の強化が不十分である	1
DV からの避難にあたり、ペット同伴可能な一時避難先の整備が求められる	1
経済的理由や社会的慣習により、暴力を我慢せざるを得なかった背景への配慮と支援が必要	1
暴力を肯定・正当化しない意識を育てるため、子どもの頃からの継続的な人権・道徳教育が重要	1
集計	5

7.男女共同参画社会づくりについて

意見	件数
男女共同参画の取組内容や拠点の存在自体が市民にほとんど知られていない	12
市の広報や情報発信が弱く、継続的・多様な周知が不足している	8
男女共同参画が何を目指しているのか分かりにくく、概念が抽象的すぎる	4
アンケートの設問設計や表現が硬く、前提誘導的で分かりにくい	4
男女という枠組みに違和感があり、性別より個人の生き方を尊重すべきという意見	4
市民と直接対話できる場や意見を聞く仕組みが不足している	4
相談窓口・専門職・常設相談体制など、実務的な支援の充実を求める声	3
男女共同参画施策や調査に税金を使う意義が見えず、無駄だと感じる意見	3
若者世代にも届くネット活用や時代に合った施策が必要という意見	2
男女共同参画は対立ではなく、相互理解と平和的な社会づくりであるべき	2
ハラスメントや暴力を許さない取組を地域全体で進めるべき	1
男女共同参画そのものが不要・意味がないと感じている意見	1
集計	48

8.あなた自身について

意見	件数
配偶者を前提とした質問が多く、配偶者がいない人には不適切・煩わしい	1
高齢の回答者には質問項目が当てはまらず、回答しづらい	2
高齢者が回答してもアンケート結果として有効性が低いという疑問	1
無作為抽出ではなく、対象年齢を限定すべきだという指摘	1
若年層を中心にアンケートを実施した方がよいという意見	2
集計	7

9.その他

意見	件数
特に意見はない・該当なしとする回答	20
内容がよく分からない、アンケートが難しいと感じた回答	4
高齢期にあり関心や意見が出にくい、人生観を述べた回答	4
行政施設や手続きへの個別要望	3
市内医療機関の質や医師のレベルへの不満	1
子育て世帯支援の不公平感や経済的支援への不満	1
国政や政治家をめぐる意見・違和感の表明	1
家族制度や移民政策など価値観・思想的意見	1
思いやりや社会のあり方など心構えを述べた意見	3
行政職員への感謝や激励の言葉	1
無駄な事業をやめるべき、何もしなくてよいという意見	2
集計	41

男女共同参画についての市民意識調査報告書

<概要版>

令和8(2026)年3月発行

発行者

八尾市 人権ふれあい部 人権政策課

〒581-0003 八尾市本町一丁目1番1号

TEL 072-924-3830 FAX 072-924-0175

電子メール jinkenseisaku@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R7-236